

JSesh ユーザーズガイド

【中級編】

永井正勝

東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門（U-PARL）・特任准教授

nagai.masakatsu@mail.u-tokyo.ac.jp

Ver.1 (2021年7月25日)

本ファイルはクリエイティブ・コモンズ・ライセンスの「表示 - 非営利 4.0 国際」で提供します



【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

スライド

- ・ 9-1 ヒエログリフの入力 ▶ 5
- ・ 9-2 単位を上下に組む ▶ 6
- ・ 9-3 単位を左右に組む ▶ 7
- ・ 9-4 「:」と「*」の組み合わせ規則 ▶ 9
- ・ 9-5 ()を使用したセットの指定 ▶ 13
- ・ 9-6 連字の設定 ▶ 15
- ・ 9-7 文字の重ね合わせ ▶ 19

【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

- ・ 10-1 文字の拡大縮小 ▶ 20
- ・ 10-2 文字幅の拡張 ▶ 25
- ・ 10-3 文字の向きの変更 ▶ 27
- ・ 10-4 文字の左右反転 ▶ 28
- ・ 10-5 文字の傾きの変更 ▶ 29

【11】 JSeshを使う：自由位置編集

スライド

- ・ 11-1 自由位置編集 ▶ 30
- ・ 11-2 編集画面での操作 ▶ 32
- ・ 11-3 編集例 ▶ 34

【12】 JSeshを使う：文字の色を変える

- ・ 12-1 赤色文字の範囲設定 ▶ 36
- ・ 12-2 一部の文字を赤色文字にする ▶ 37
- ・ 12-3 一部の文字を灰色文字にする ▶ 39

【13】 JSeshを使う：王名枠の設定

- ・ 13-1 枠を選択する ▶ 41
- ・ 13-2 枠の種類 ▶ 42
- ・ 13-3 カルトウーシュ (*šnw*) ▶ 43
- ・ 13-4 セレク (*srḥ*) ▶ 44
- ・ 13-5 フウト (*ḥw-t*) ▶ 45
- ・ 13-6 要塞枠 ▶ 46
- ・ 13-7 枠内の記述を変更する ▶ 47

目次

【14】 JSeshを使う：練習問題

スライド

- ・ 14-1 問題1 ▶ 49
- ・ 14-2 問題2 ▶ 50
- ・ 14-3 問題1の解答 ▶ 51
- ・ 14-4 問題2の解答 ▶ 54
- ・ 14-5 文法のまとめ ▶ 56
- ・ 14-6 グロス ▶ 57

謝辞 ▶ 59

奥付 ▶ 60

【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-1 ヒエログリフの入力

JSesh

①タイプ入力枠での入力

【基本編】 2-4 参照

文字番号 M17-G43-I9-G17-Q3-X1-N1

転写 i-w-f-m-p-t-pt

転写 文字番号 i-w-f-m-p-t-N1



②パレットから入力すると、タイプ入力枠に文字番号が入力される

前提規則

- (ハイフン) で単位 (最小で1文字) が切れている！

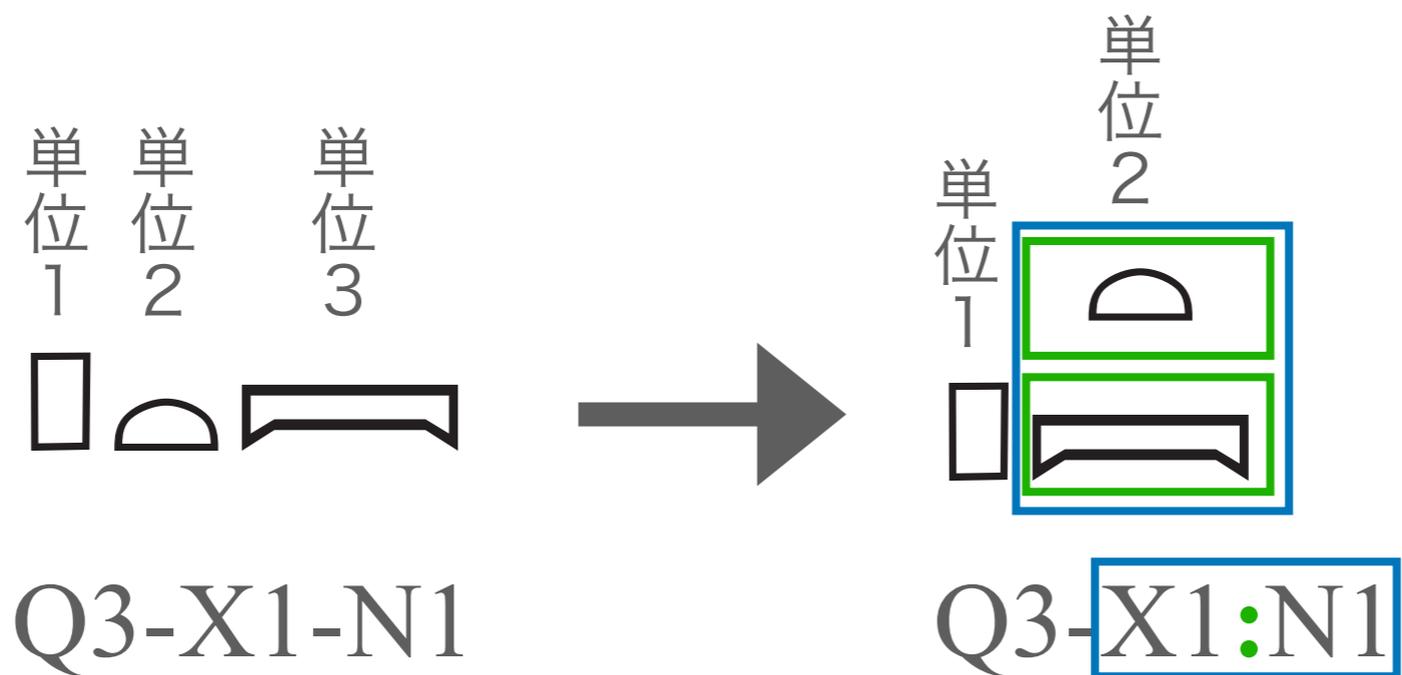
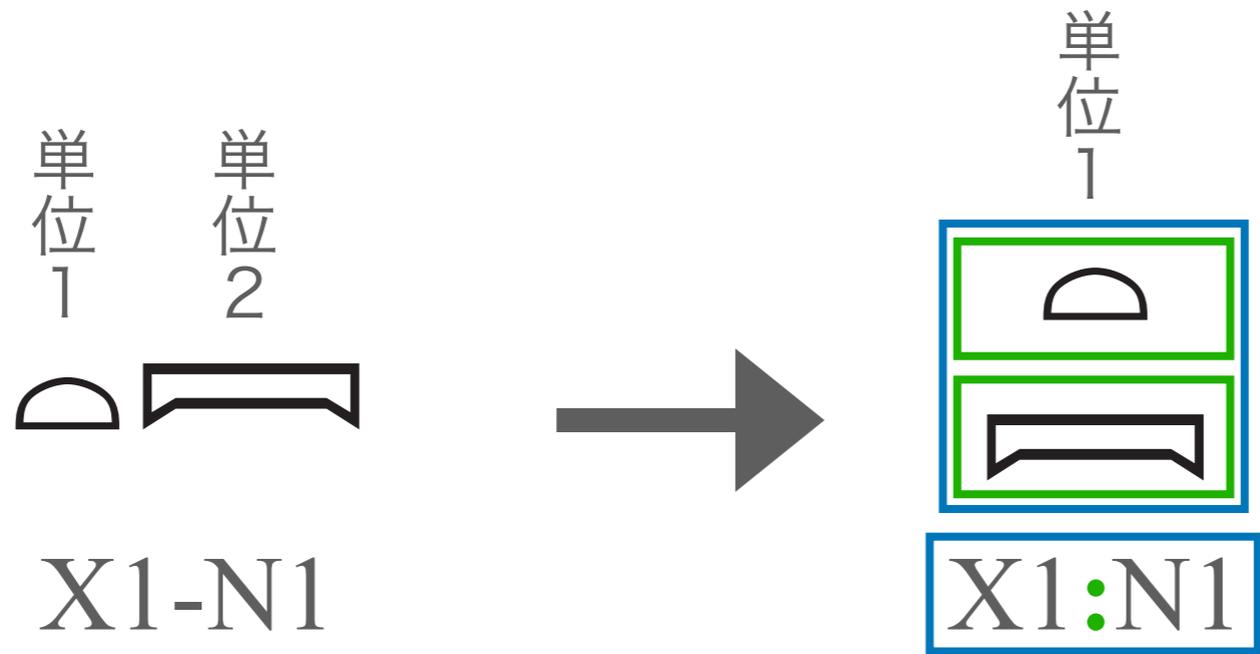
【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-2 単位を上下に組む

JSesh

：は前後の単位を上下に組む

【基本編】 4-2~3 参照



【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-3 単位を左右に組む

JSesh

* は前後の単位を横に組む

【基本編】 4-2~3 参照

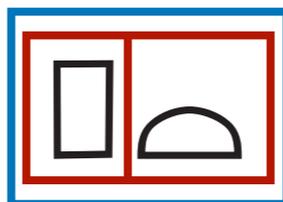
単位
1 2



Q3-X1

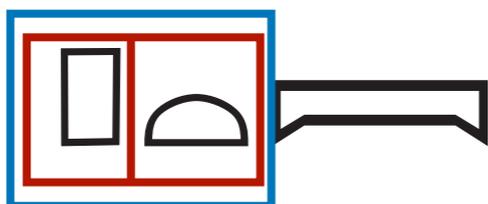


単位
1

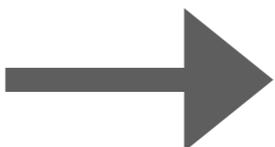


Q3*X1

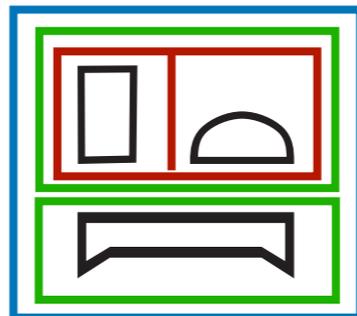
単位
1 2



Q3*X1-N1



単位
1



Q3*X1:N1

【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-3 単位を左右に組む

JSesh

File > Format > Text in Columns (縦書き)

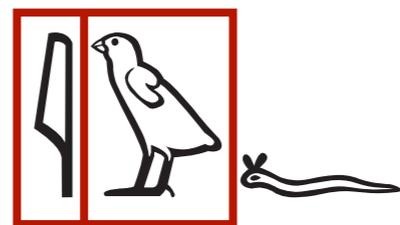
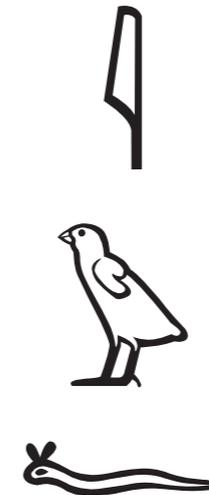
横書き



M17-G43-I9

通常

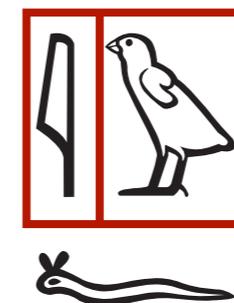
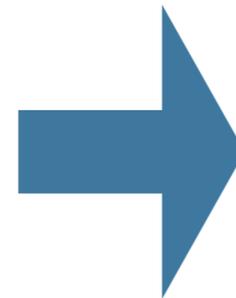
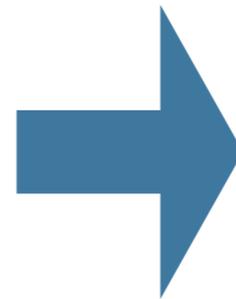
縦書き



M17*G43-I9

横組み

見た目は変わらない



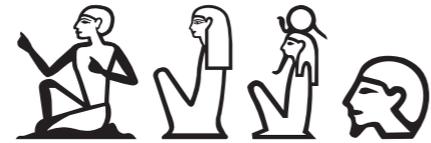
横組みになっている

【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

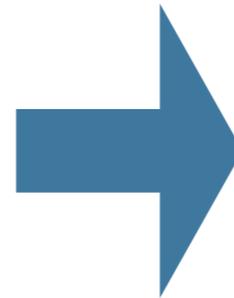
9-4 「:」 と 「*」 の組み合わせ規則

JSesh

右側の記述で、文字はどのように配列される
でしょうか？



A1-B1-C1-D1



A1:B1*C1:D1

【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-4 「:」 と 「*」 の組み合わせ規則

JSesh

結果はこのようになります



A1:B1*C1:D1

スライド11~12で理由を説明します

仕組みがやや複雑ですので、
難しいと感じた人はスライド13へどうぞ！

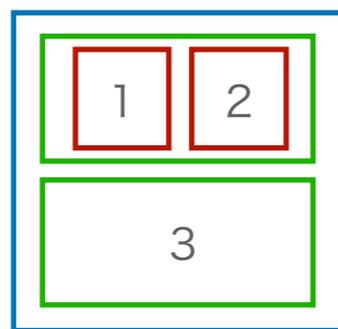
【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-4 「:」 と 「*」 の組み合わせ規則

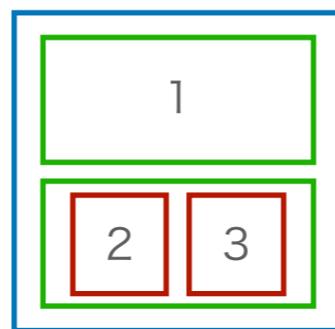
JSesh

基本となる規則

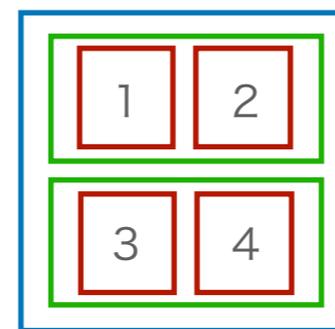
上下組みのパーツの中に左右組みが設定される



単位 1

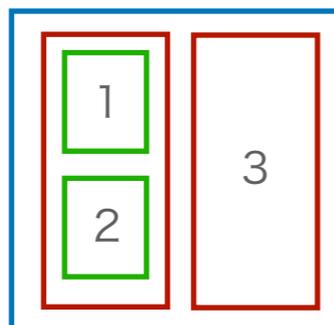


単位 1

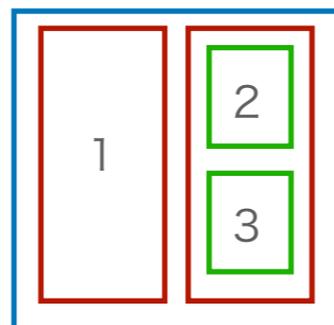


単位 1

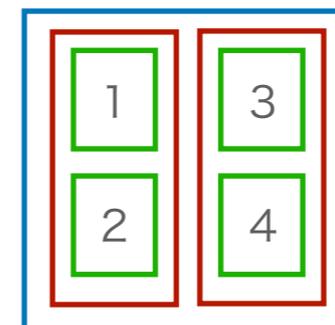
左右組みのパーツの中に上下組みを設定することができない



単位 1



単位 1



単位 1

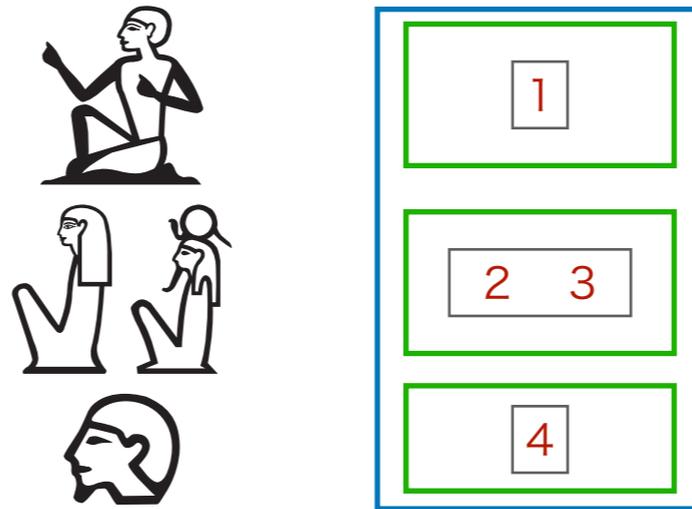
【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-4 「:」 と 「*」 の組み合わせ規則

JSesh

：から：までが1つのセットとなる

：でセットが区切れる（-で区切れるのは前提規則）



1	2	3	4
A1:B1*C1:D1			
セット	セット	セット	

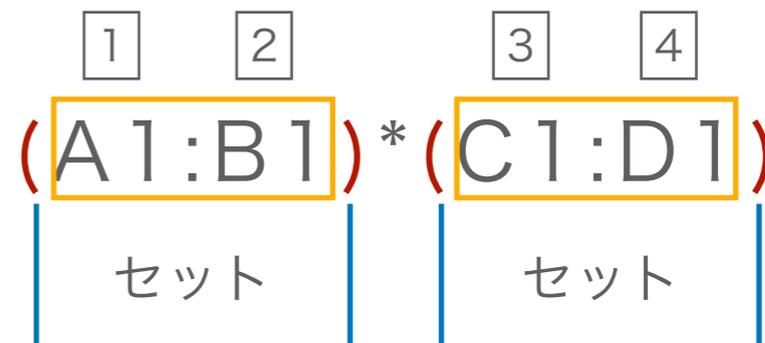
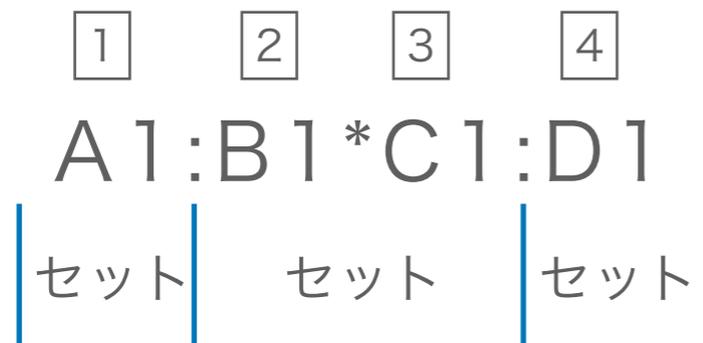
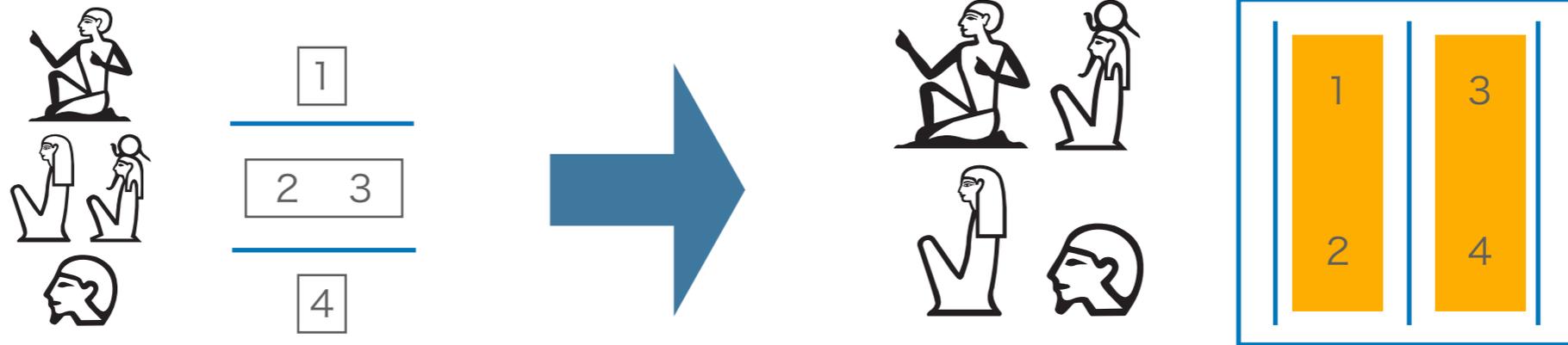
B1*C1が1つのセットとなり、2つの文字が横にならぶ

【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-5 ()を使用したセットの指定

JSesh

() を用いると、: の前後にある文字をセットに指定することができる



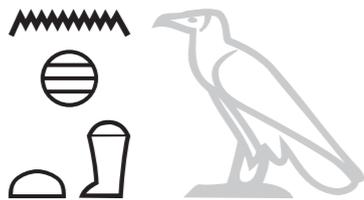
【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-5 ()を使用したセットの指定

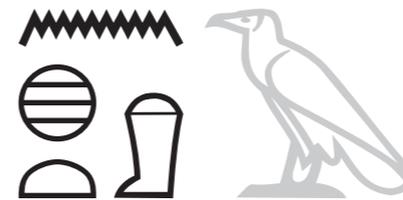
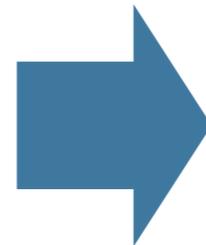
JSesh

() の使用例

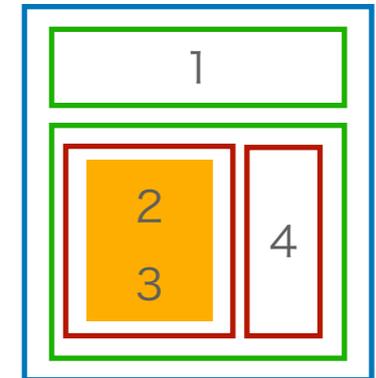
横書きの例



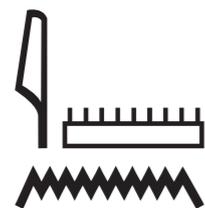
N35:Aa1:X1*U30-G1



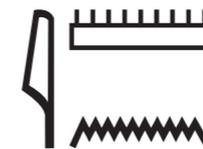
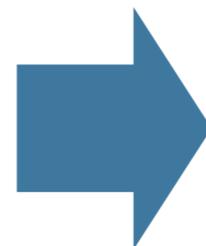
N35:(Aa1:X1)*U30-G1



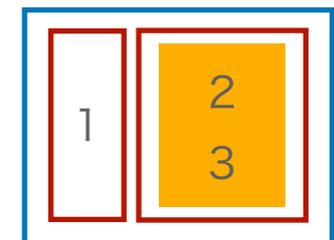
縦書きの例



M17*Y5:N35-G17



M17*(Y5:N35)-G17



【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-6 連字の設定

JSesh

連字 = 文字と文字が視覚的に一体化しているもの
(このガイドでの定義)

*連字になっているからといって、一文字になっているわけではない



X1-G1

通常



X1*G1

横組み



X1&G1

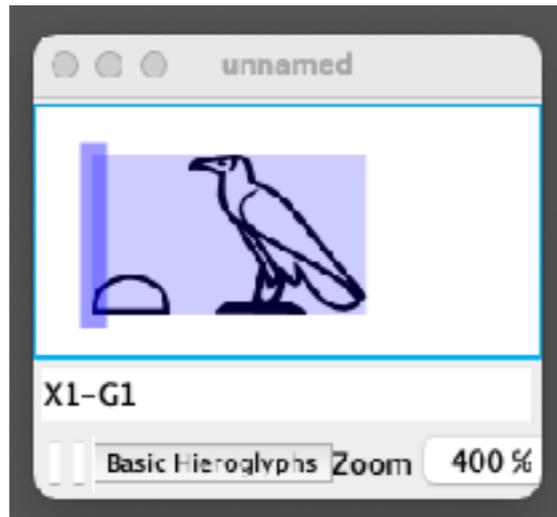
連字

エジプト学では文字と文字が視覚的に一体化したものを
ligature(合字)と呼ぶことが多いが、
本来のligatureの定義とは異なっているので注意が必要！

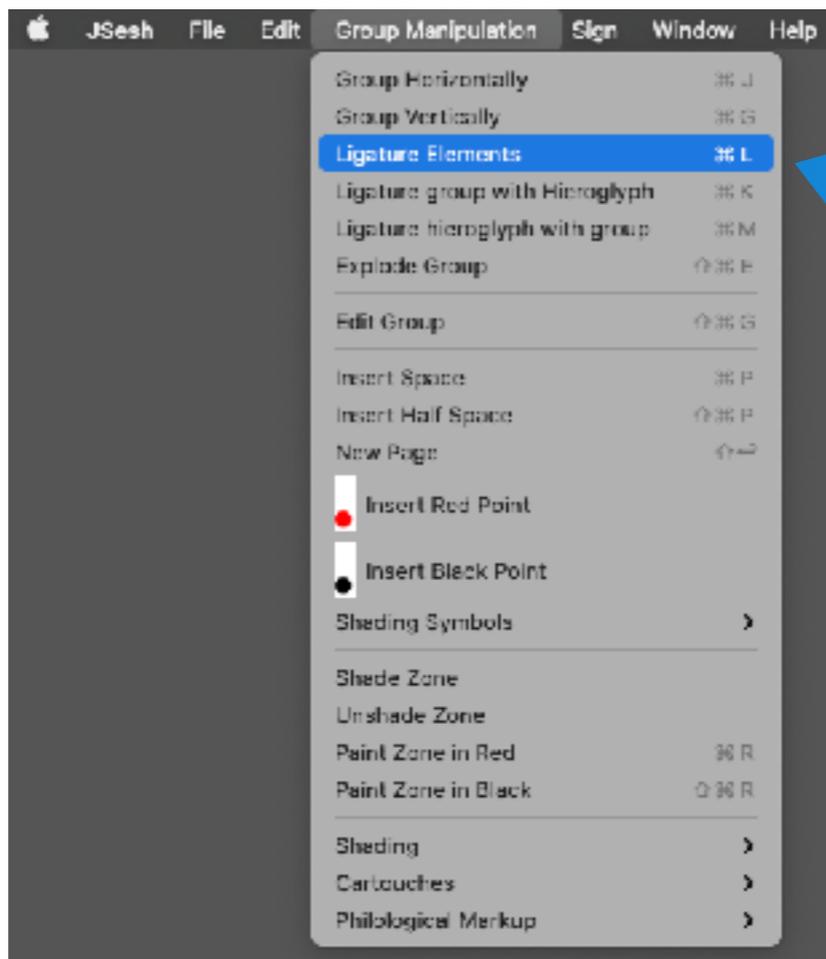
【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-6 連字の設定

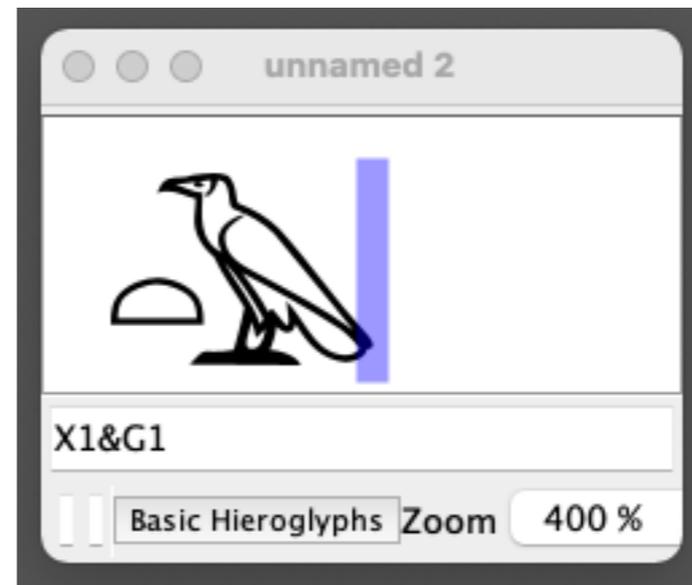
JSesh



① 連字にしたい文字をカーソルで範囲選択



② Group Manipulation > Ligature Elements を選択



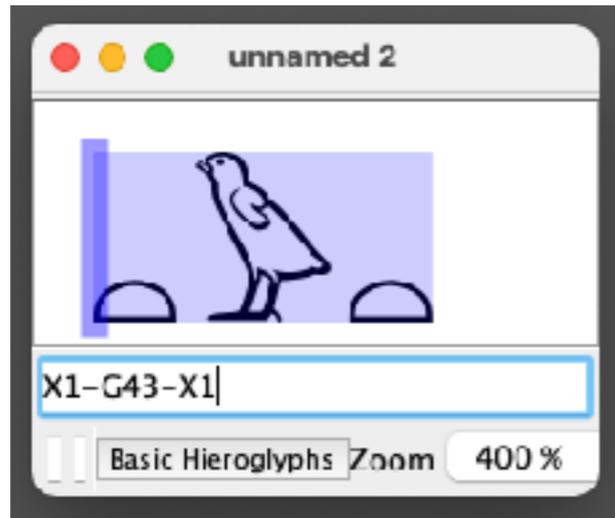
X1&G1

連字文字が & で結ばれている
タイプ入力枠での操作も可能

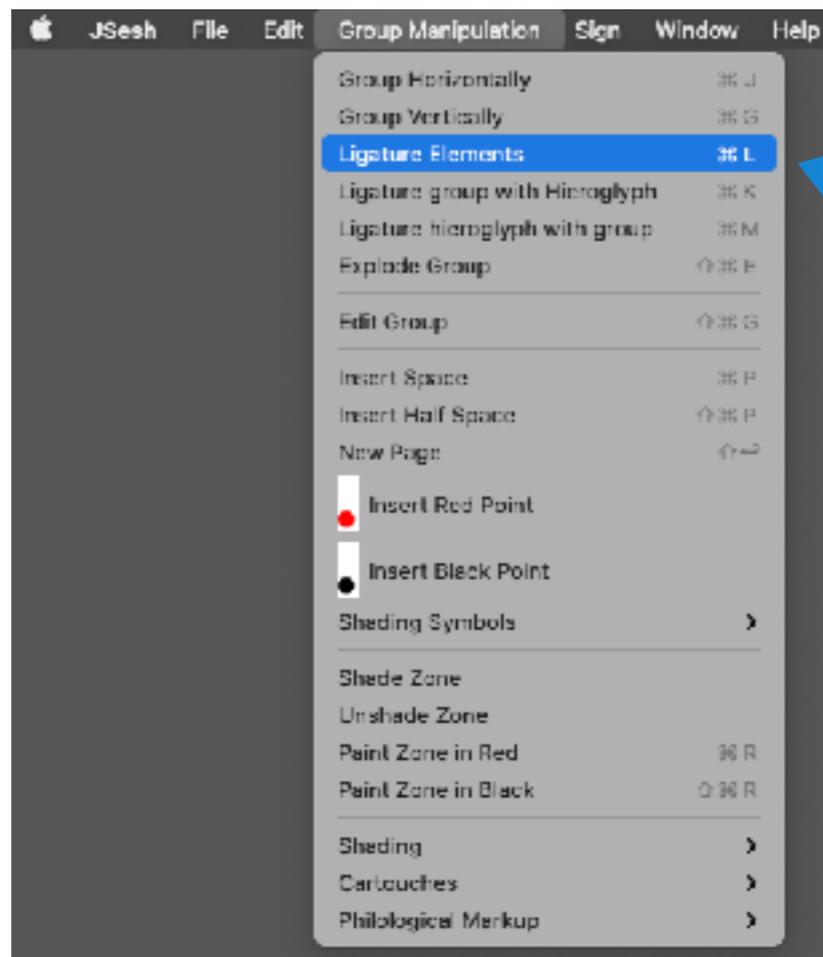
【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

9-6 連字の設定

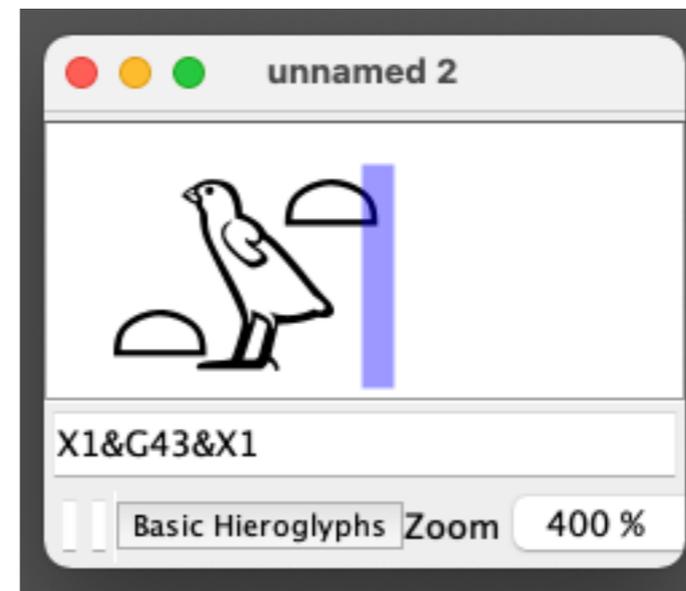
JSesh



① 連字にしたい文字をカーソルで範囲選択



② Group Manipulation
> **Ligature Elements** を選択



X1**&**G43**&**X1

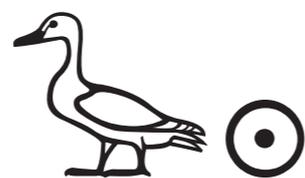
連字文字が **&** で結ばれている
タイプ入力枠での操作も可能

【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

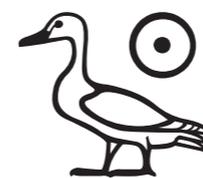
9-6 連字の設定

JSesh

連字の例



G39-N5



G39&N5



G14-X1



G14&X1



U21-N35-N5



U21&N35&N5

【9】 JSeshを使う：文字の組み合わせの応用

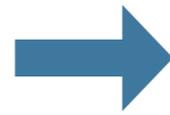
9-7 文字の重ね合わせ

JSesh

タイプ入力で文字と文字を重ねることもできる



M17-D21



M17##D21



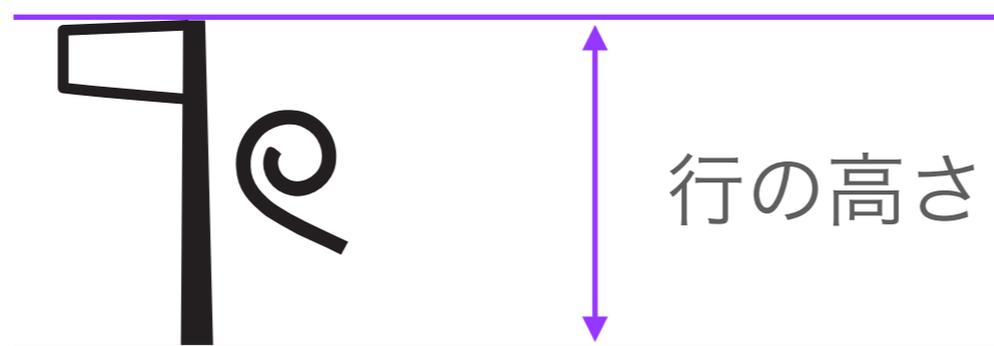
- の代わりに ## を用いる

【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

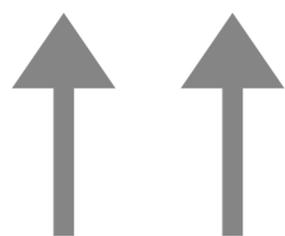
10-1 文字の拡大縮小

JSesh

行の高さの範囲で拡大・縮小が可能



R8 - Z7



拡大



R8は文字の高さが行の高さと同じなので拡大不可

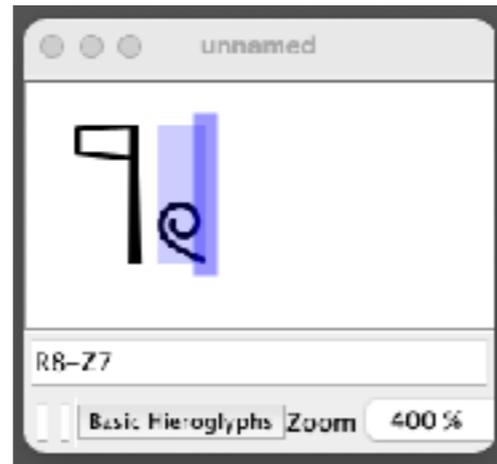
縮小



【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

10-1 文字の拡大縮小

JSesh



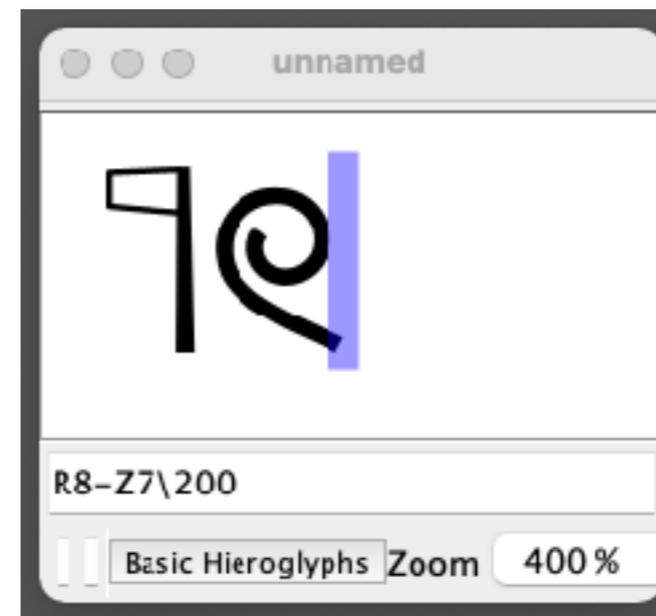
① 拡大縮小させる文字をカーソルで範囲選択



② Sign
> Size
> 200%

目的の倍率を選択
デフォルトでは100%

200%に拡大



タイプ入力枠では
\200

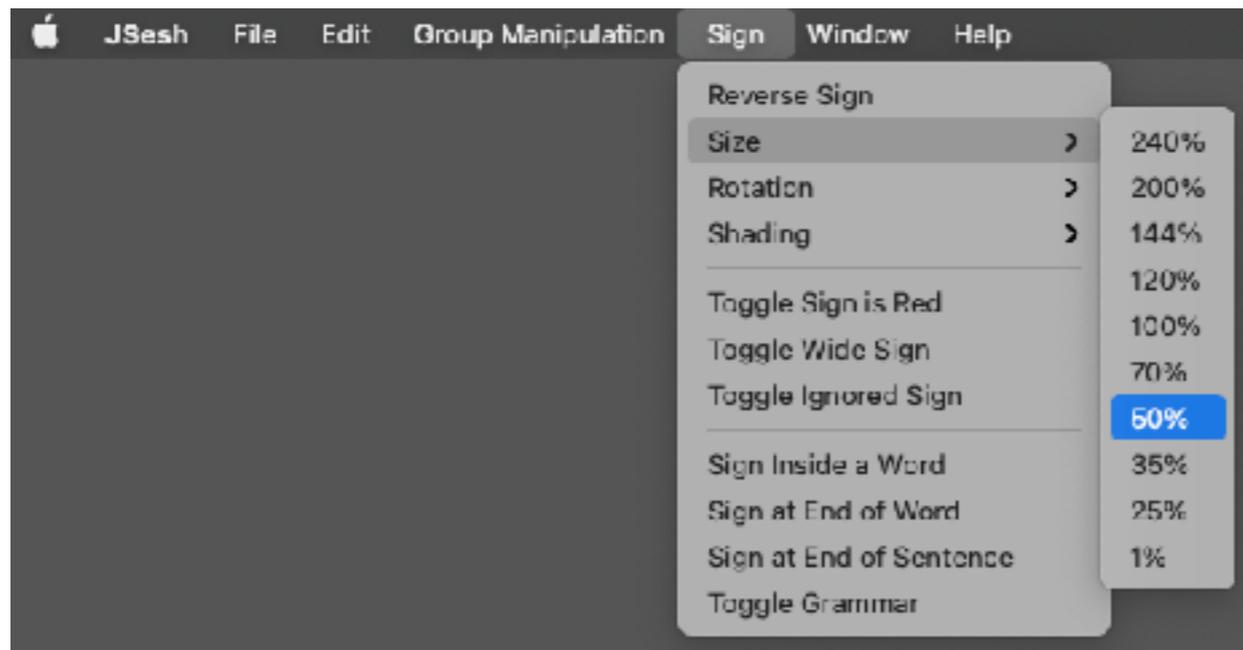
【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

10-1 文字の拡大縮小

JSesh



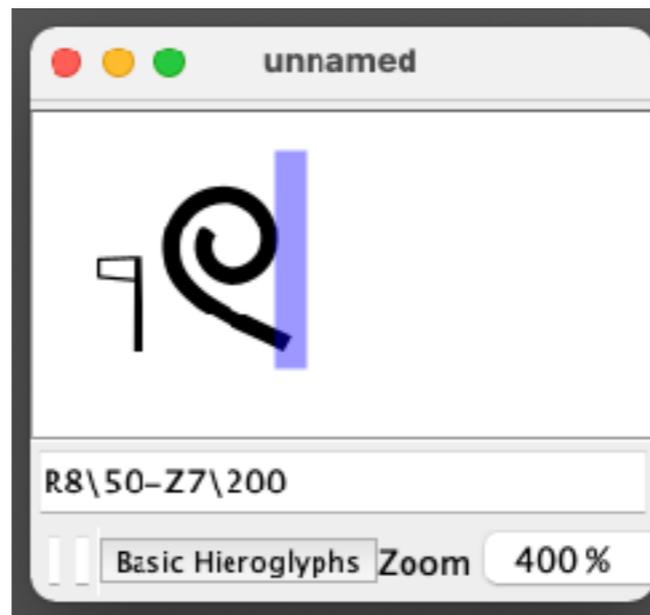
① 拡大縮小させる文字をカーソルで範囲選択



② Sign
> Size
> 50%

目的の倍率を選択
デフォルトでは100%

50%に縮小



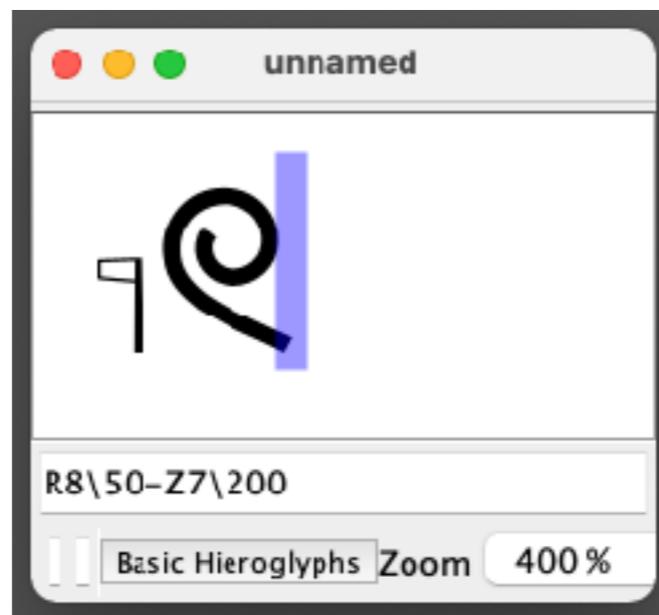
タイプ入力枠では
\50

【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

10-1 文字の拡大縮小

JSesh

タイプ入力枠からも拡大縮小が可能



R8\50-Z7\200

\数字

デフォルトは100

101以上=拡大

99以下=縮小

Macでの \ (バックスラッシュ) の入力

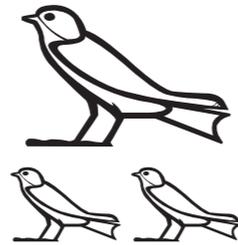
option + ¥

【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

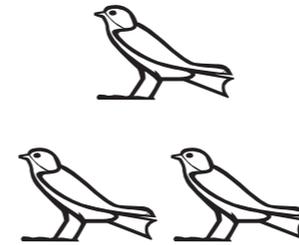
10-1 文字の拡大縮小

JSesh

縮小の例



G36:G36*G36



G36\53:G36*G36

【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

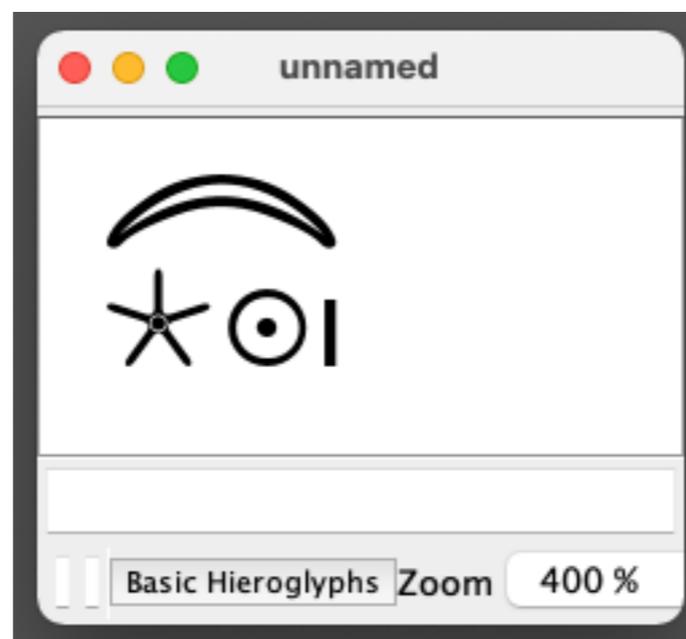
10-2 文字幅の拡張

JSesh

文字を横方向に伸ばす

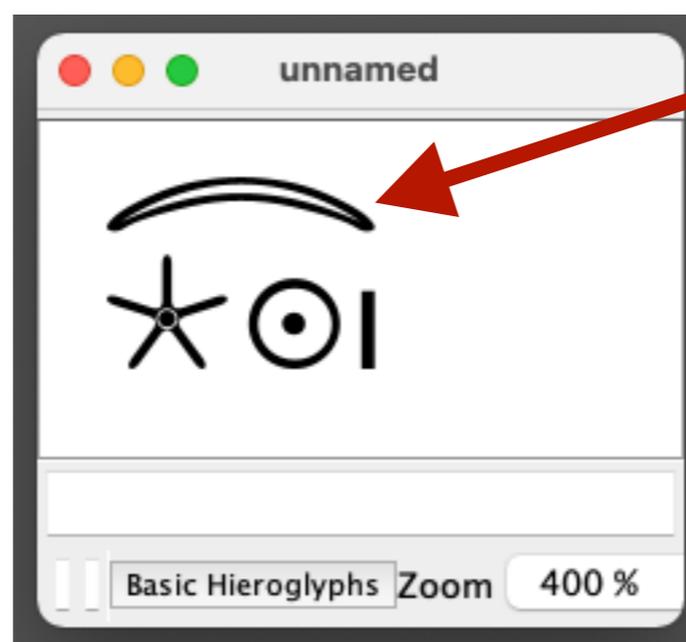
文字幅の拡張は新エジプト語のヒエラティックでよく見られる

通常



N11:N14*N5*Z1

文字幅拡張



拡張される

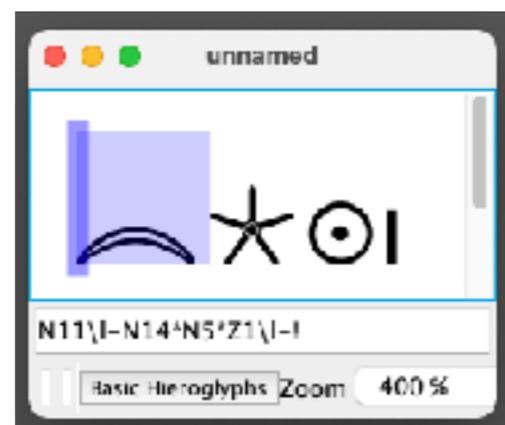
N11\I:N14*N5*Z1



\I I(エル)=long

【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

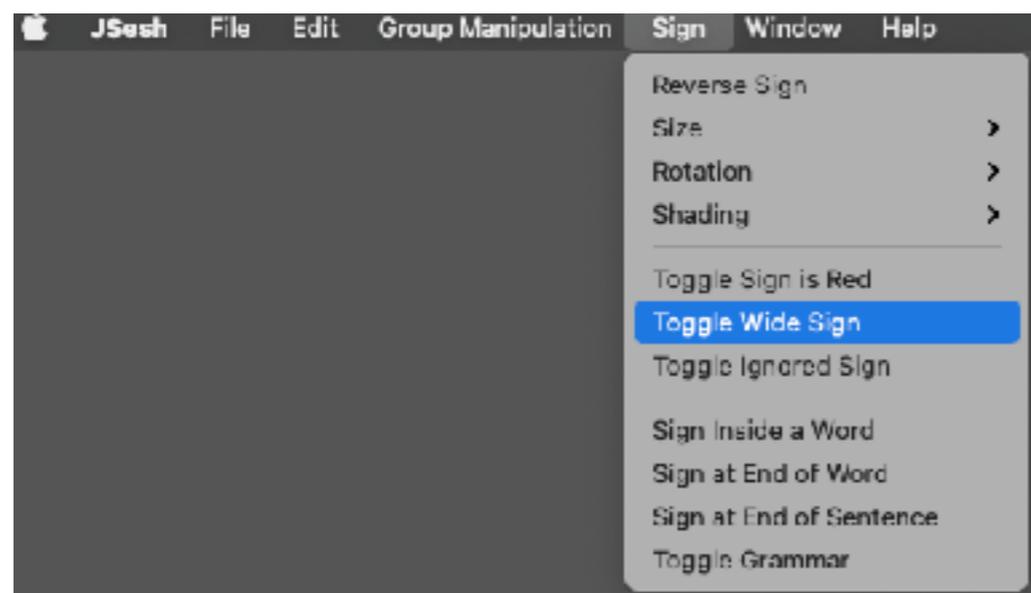
10-2 文字幅の拡張



① 拡張する文字を範囲選択

N11-N14*N5*Z1

この際、次の文字と組み合わせないこと



② 文字幅を拡張させる

Sign

> Toggle Wide Sign

N11\I-N14*N5*Z1



③ 拡張後に組み合わせを行う

N11\I:N14*N5*Z1

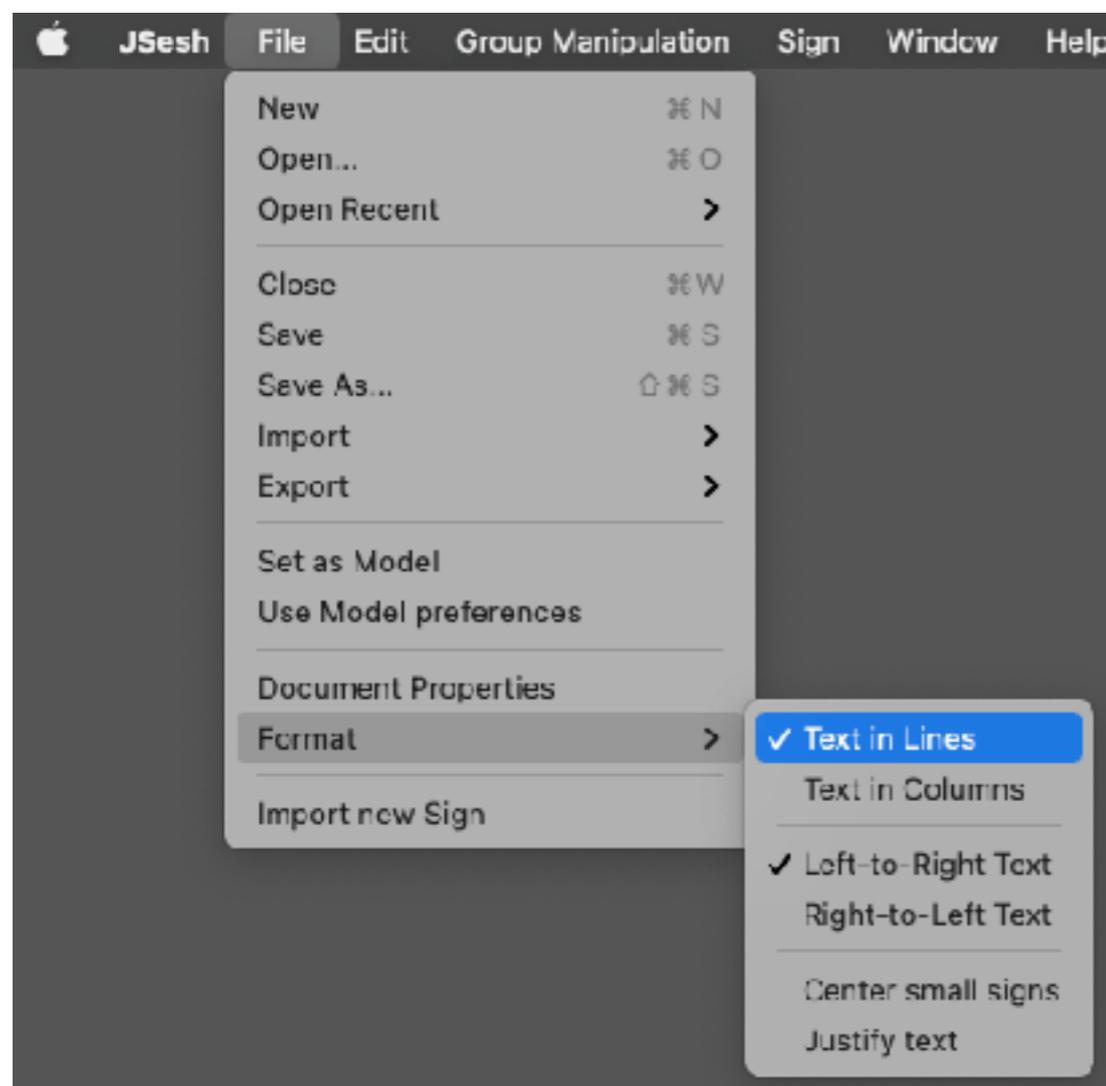
【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

10-3 文字の向きの変更

JSesh

File > Format からテキスト全体の書字方向を変更することができる

【基本編】 4-4 参照



Text in Lines ←横書き

Text in Columns ←縦書き

Left to Right Text ←左書き

Right to Left Text ←右書き

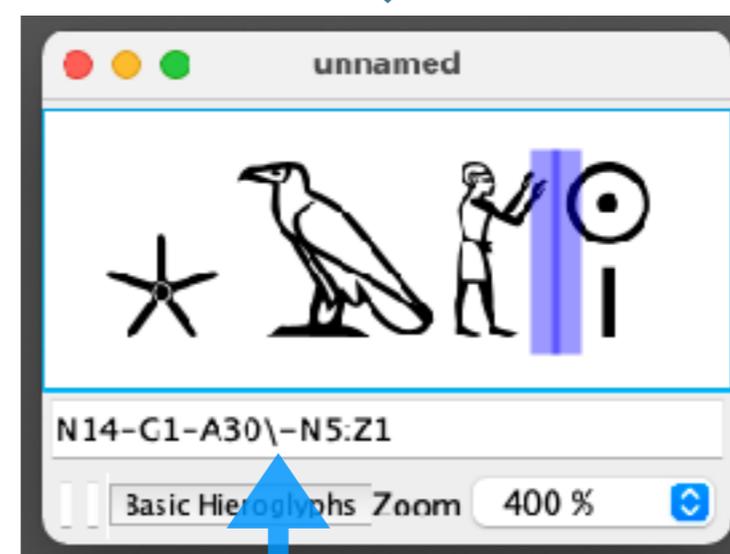
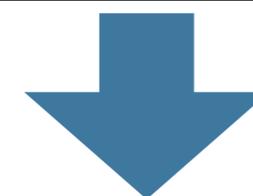
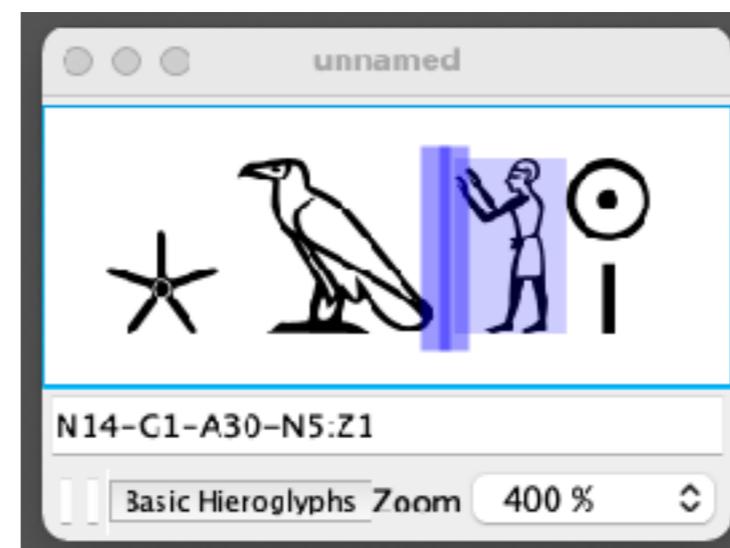
【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

10-4 文字の左右反転

JSesh

テキスト中の一部の文字を左右反転させる

- ① 反転させる文字を選択
- ② Sign > **Reverse Sign**



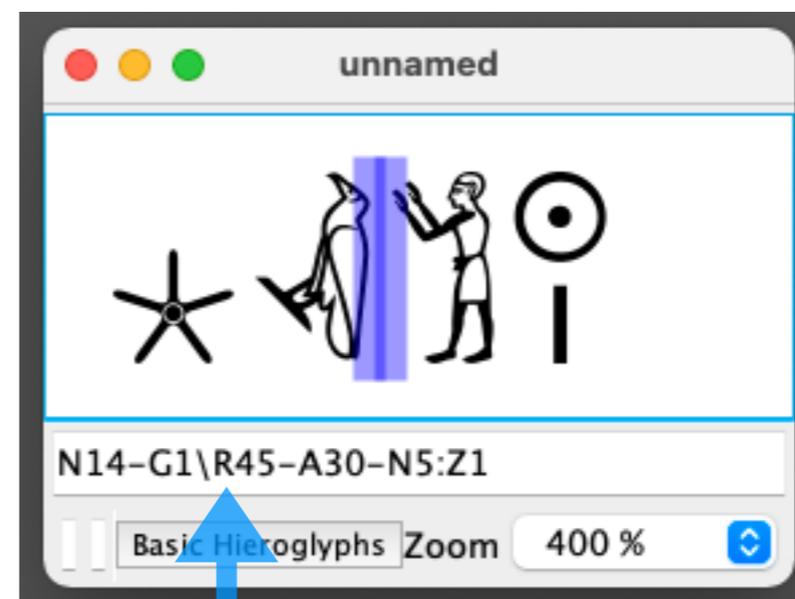
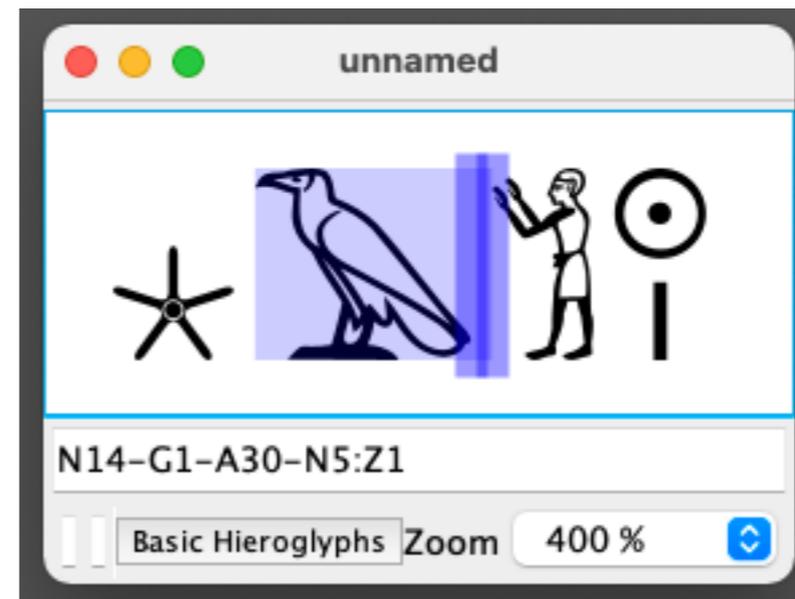
タイプ入力枠では \ により反転

【10】 JSeshを使う：文字の大きさと向きを変更する

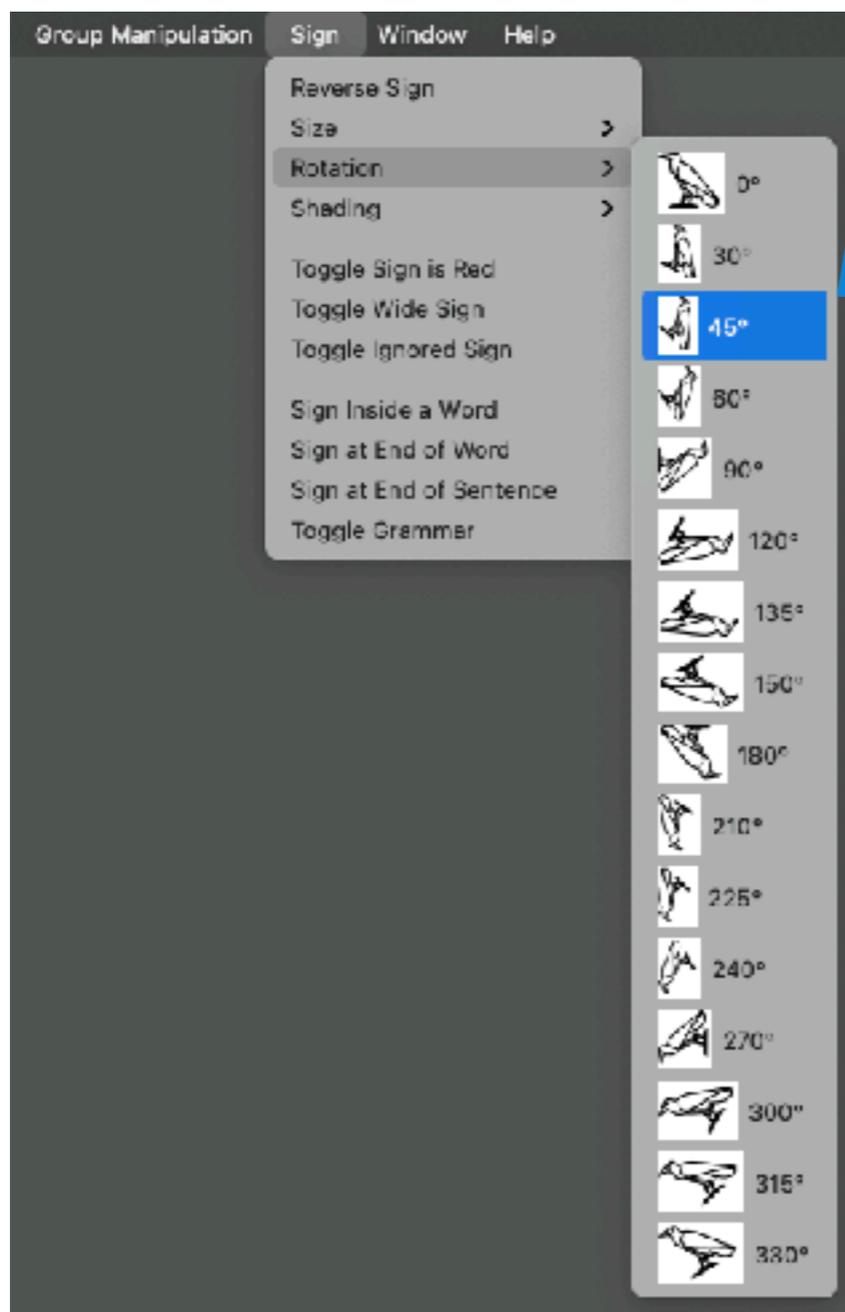
10-5 文字の傾きの変更

JSesh

- ①文字を選択
- ②Sign > **Rotation**
- ③**角度** を選択



タイプ入力枠では **\R45** (時計回り45度)

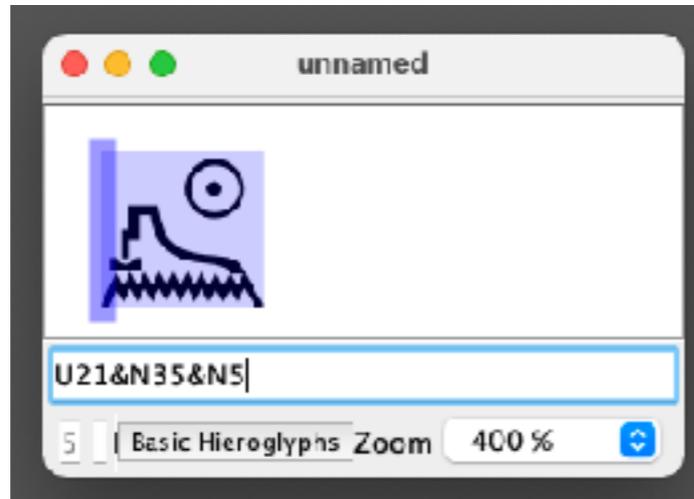


【11】 JSeshを使う：自由位置編集

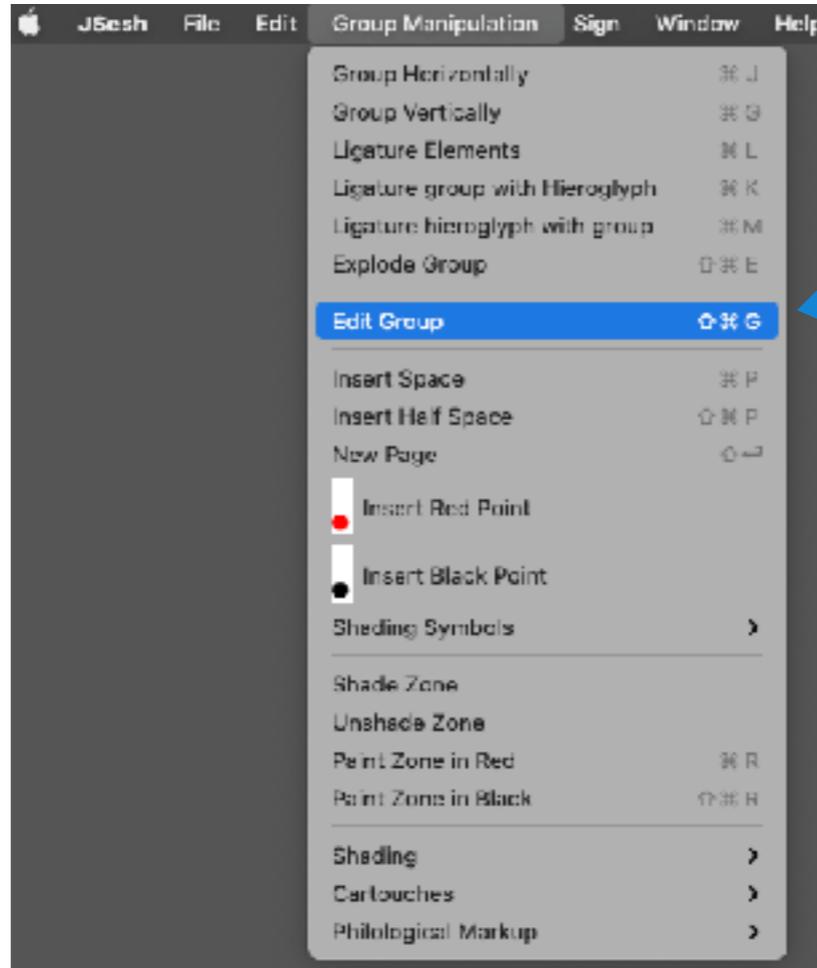
11-1 自由位置編集

JSesh

JSeshでは文字を自由な位置に移動させることができる



①文字を範囲選択



②Group Manipulation

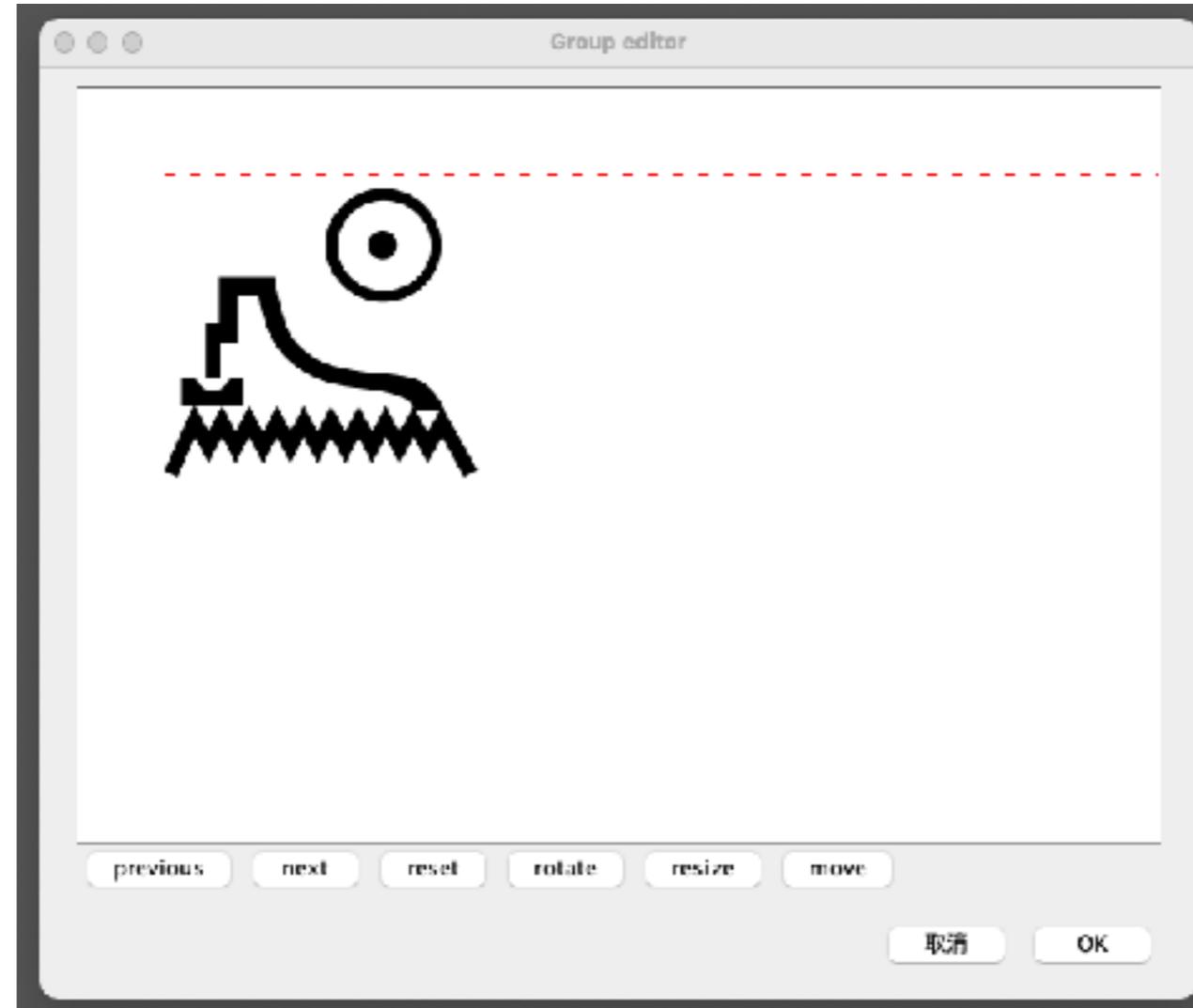
> Edit Group

【11】 JSeshを使う：自由位置編集

11-1 自由位置編集

JSesh

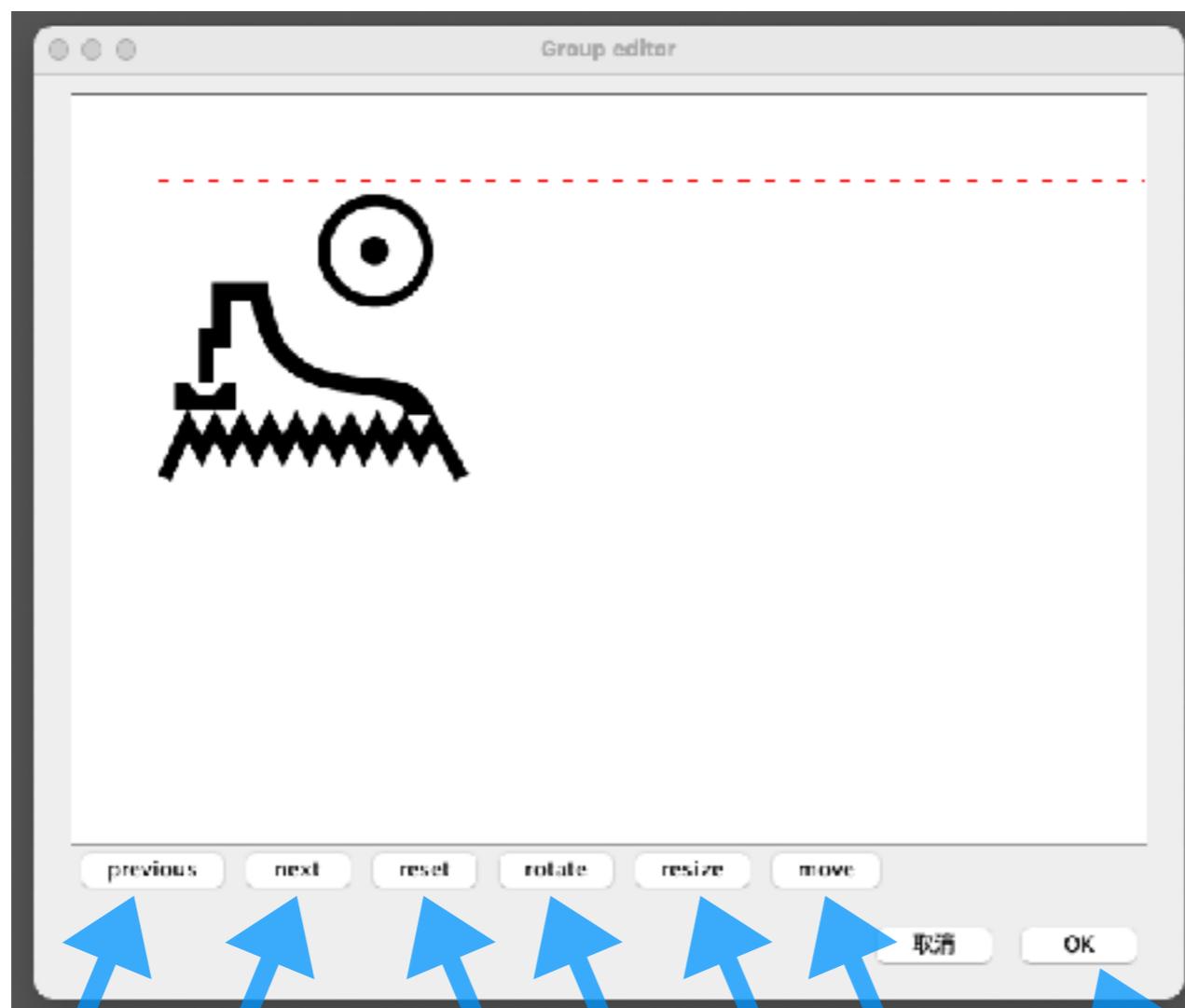
③編集画面が開く



【11】 JSeshを使う：自由位置編集

11-2 編集画面での操作

JSesh



1つ前の文字

次の文字

リセット

回転

拡大縮小

移動

保存

①以下の方法で文字を選択

- previous (1つ前の文字)
- next (次の文字)
- 文字を直接クリック

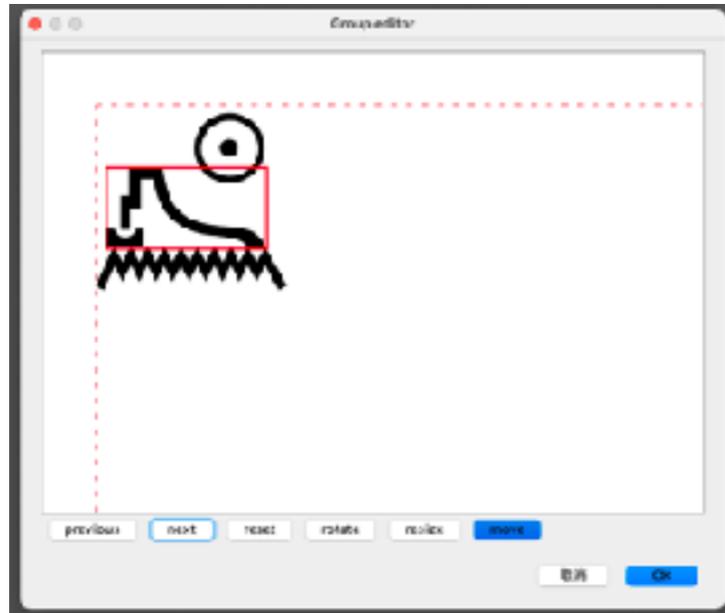
②文字を回転・拡大縮小・移動

③OKで変更を保存

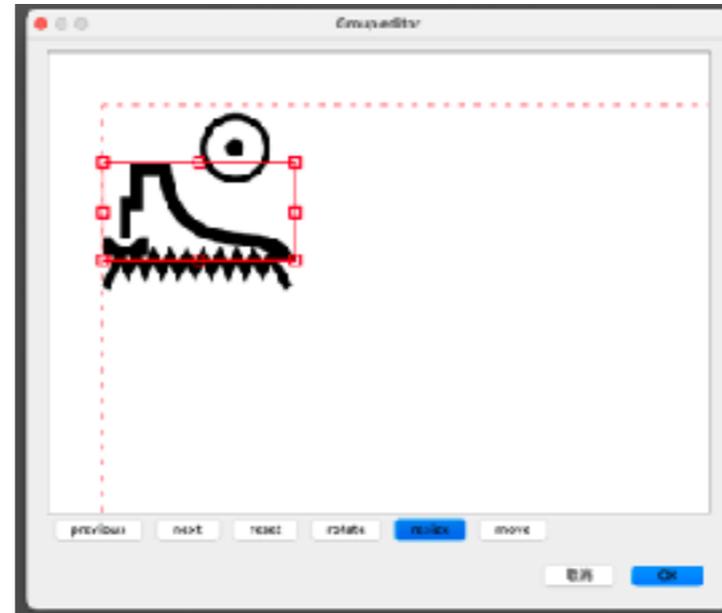
【11】 JSeshを使う：自由位置編集

11-2 編集画面での操作

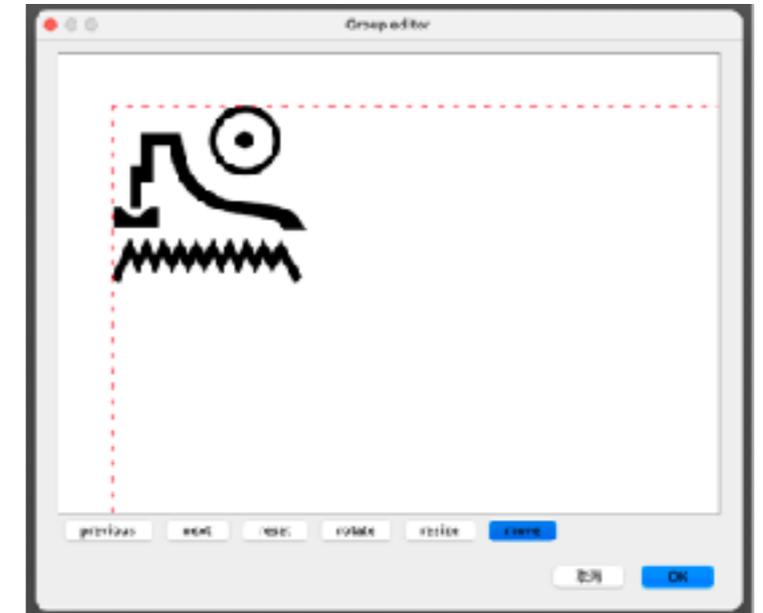
JSesh



next でU21を選択



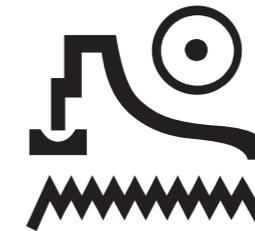
resize で拡大



move で上に移動
OK で保存



U21 & N35 & N5



U21 {{14,126,112}}**N35{{0,724,100}}**N5{{535,0,80}}

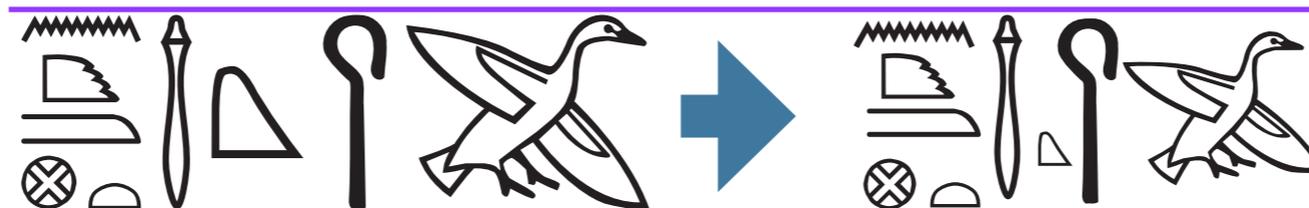
【11】 JSeshを使う：自由位置編集

11-3 編集例

JSesh

【基本編】 8-1 練習問題 参照

資料



資料の配置に
近くなった

G40-S38-N29-O29v-N35:I6:Aa15:X1*O49

自由位置編集

```
G40\R9{{0,82,78}}**S38{{1120,19,98}}**N29{{1367,634,39}}  
**O29v{{1639,0,96}}**N35{{1895,29,63}}**I6{{2002,208,55}}  
**Aa15{{1862,510,56}}**X1{{1865,910,55}}**O49{{2212,782,55}}
```

【11】 JSeshを使う：自由位置編集

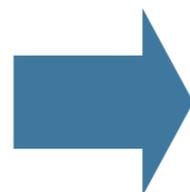
11-3 編集例

JSesh

文字と文字を組み合わせてすることもできる



K4-A28

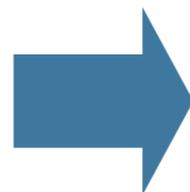


K4\67\R346**A28{{29,201,93}}

①K4-A28をEdit Groupで編集
→ **resize**, **rotate**, **move**



K4-A1



K4\\R353{{20,126,38}}**A1

①K4を左右反転 → K4\
②K4\A1をEdit Groupで編集
→ **rotate**, **resize**, **move**

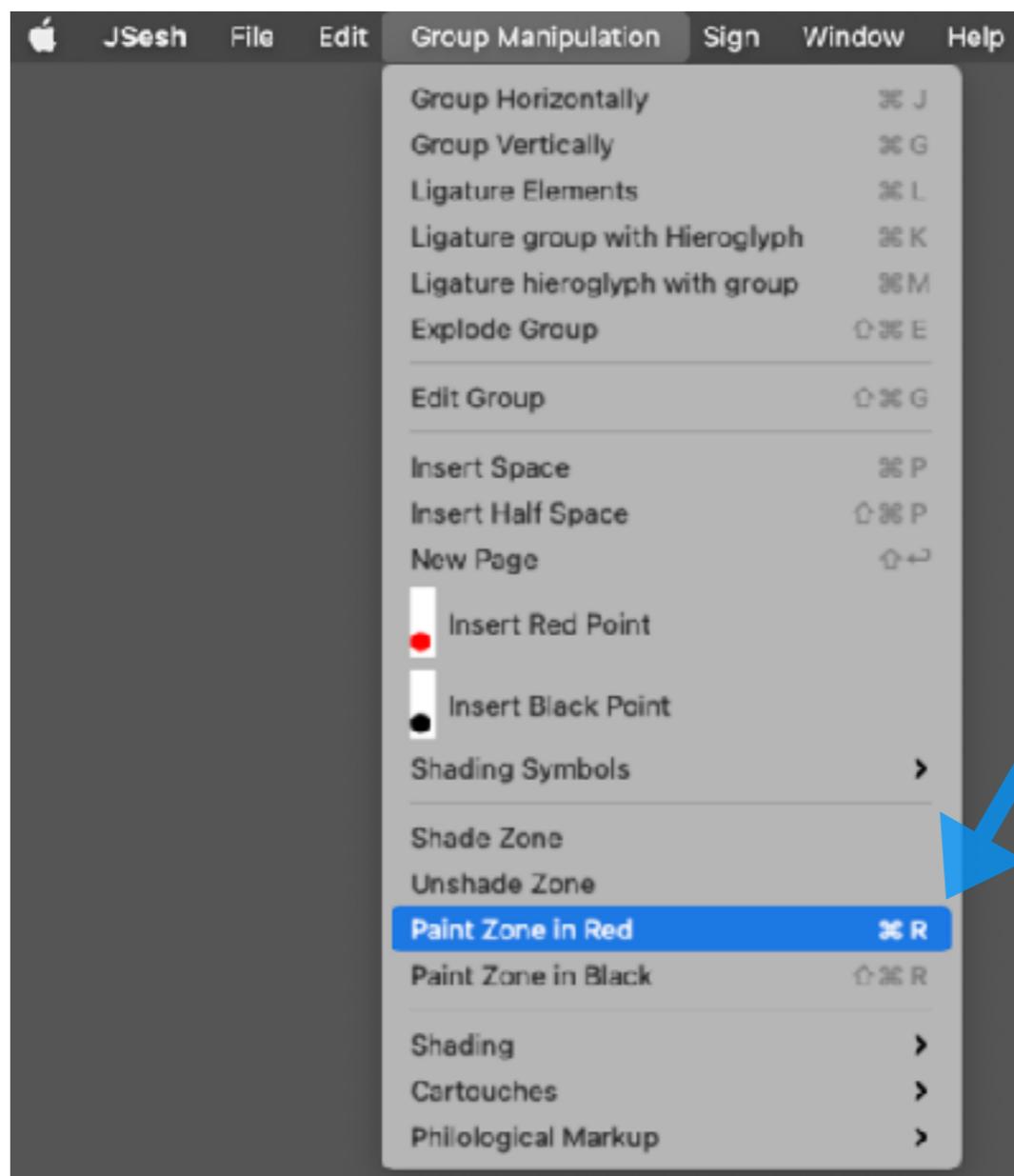
【12】 JSeshを使う：文字の色を変える

12-1 赤色文字の範囲設定

JSesh

選択範囲を赤色文字にする

【基本編】 5-1 参照



Group Manipulation

> Paint Zone in Red



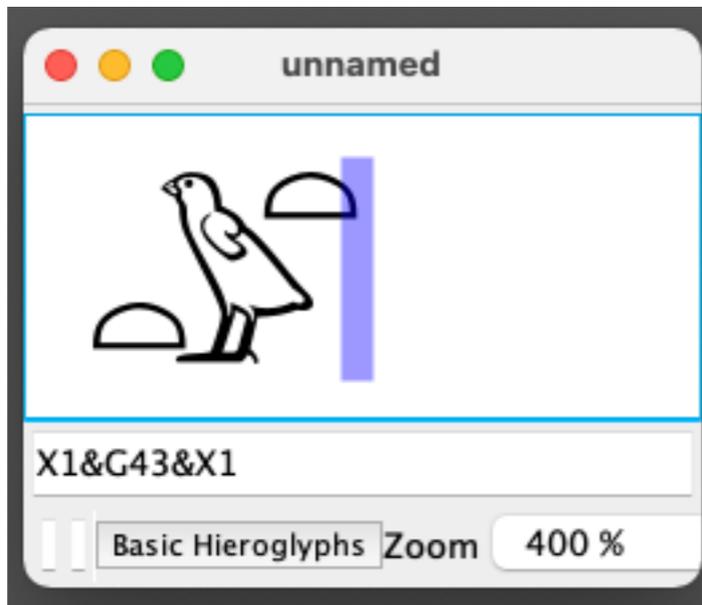
\$r-赤色文字の範囲-\$b

【12】 JSeshを使う：文字の色を変える

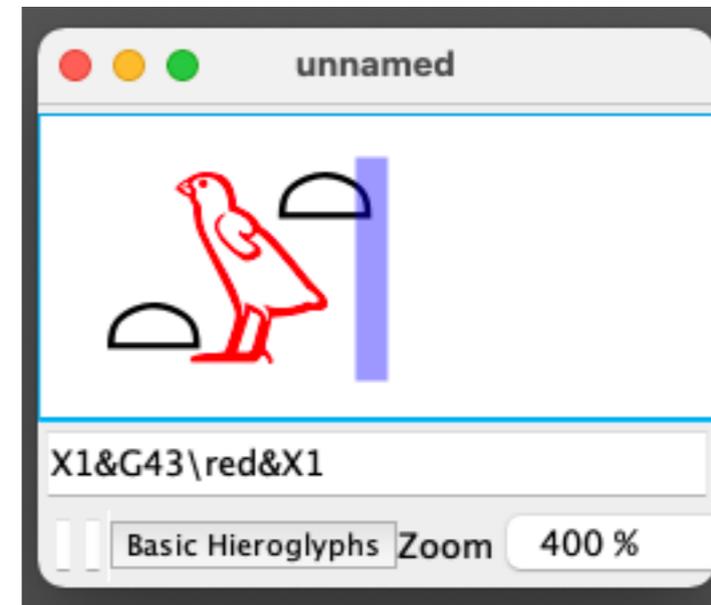
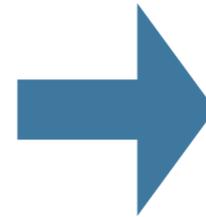
12-2 一部の文字を赤色文字にする

JSesh

タイプ入力枠で赤色にする文字の後ろに `\red` を記入



X1&G43&X1



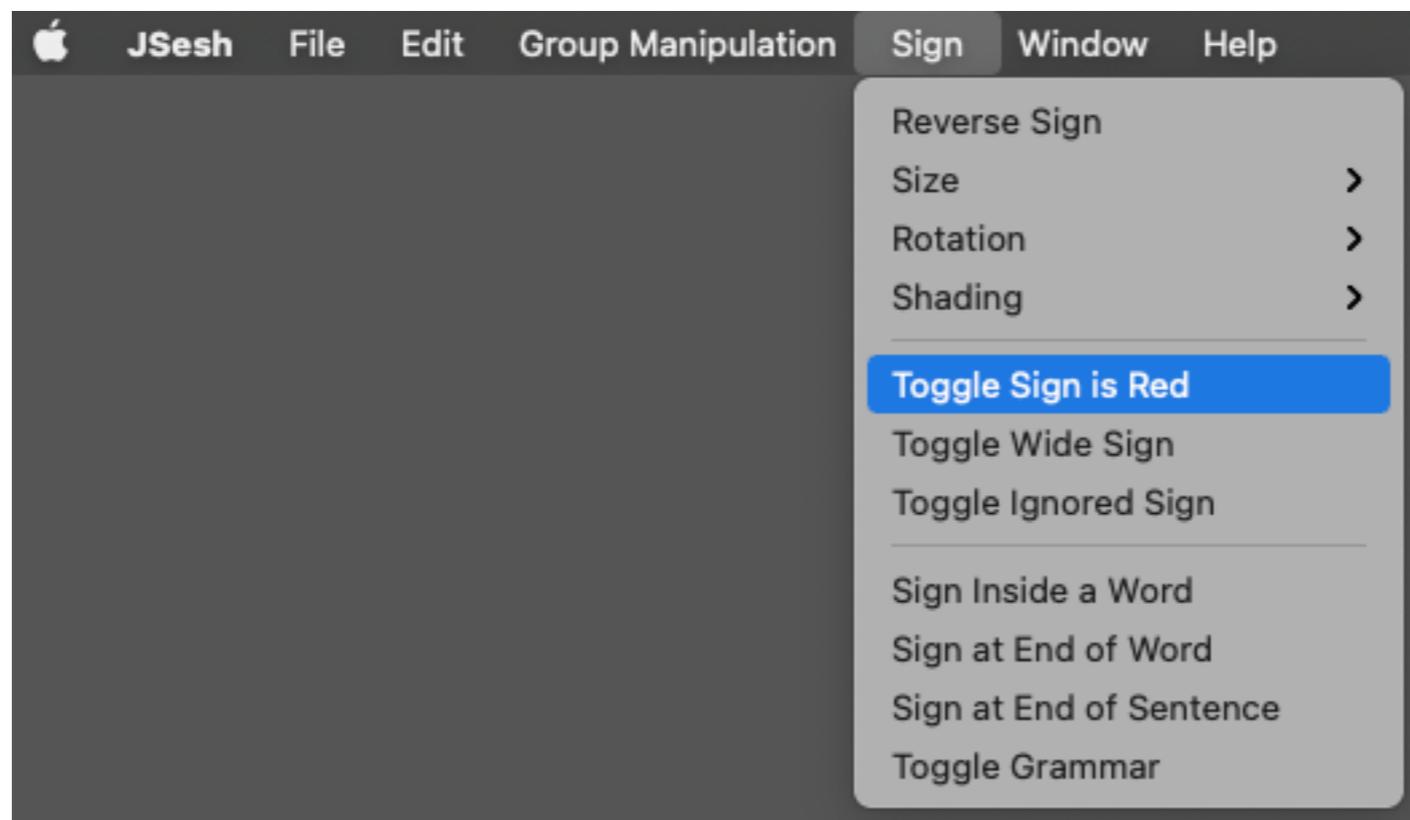
X1&G43\red&X1

【12】 JSeshを使う：文字の色を変える

12-2 一部の文字を赤色文字にする

JSesh

メニューバーから赤色文字を設定する



Sign

> Toggle Sign is Red

メニューバー操作のToggle Sign is Redは
1つの単位に対して設定される

例：「X1&G43&X1」は1つの単位となるので
単位設定する前に個別に赤色にしておくか、
単位設定後にタイプ入力枠で個別に記述する

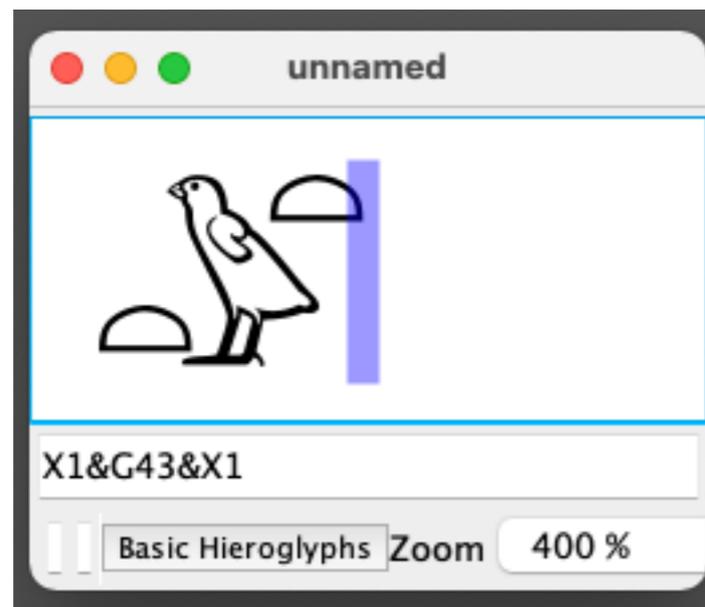
【12】 JSeshを使う：文字の色を変える

12-3 一部の文字を灰色文字にする

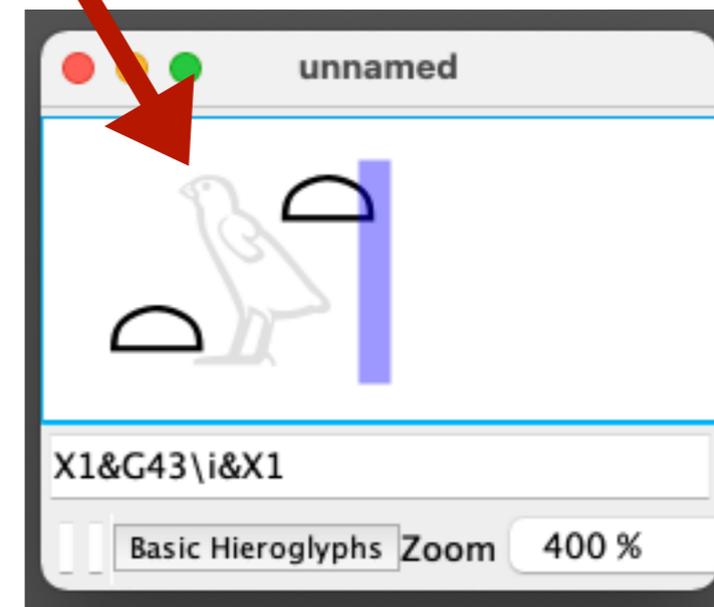
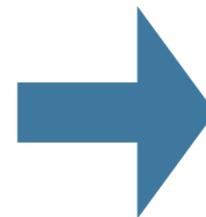
JSesh

タイプ入力枠で灰色にする文字の後ろに `\i` を入力

文字が灰色になる



`X1&G43&X1`



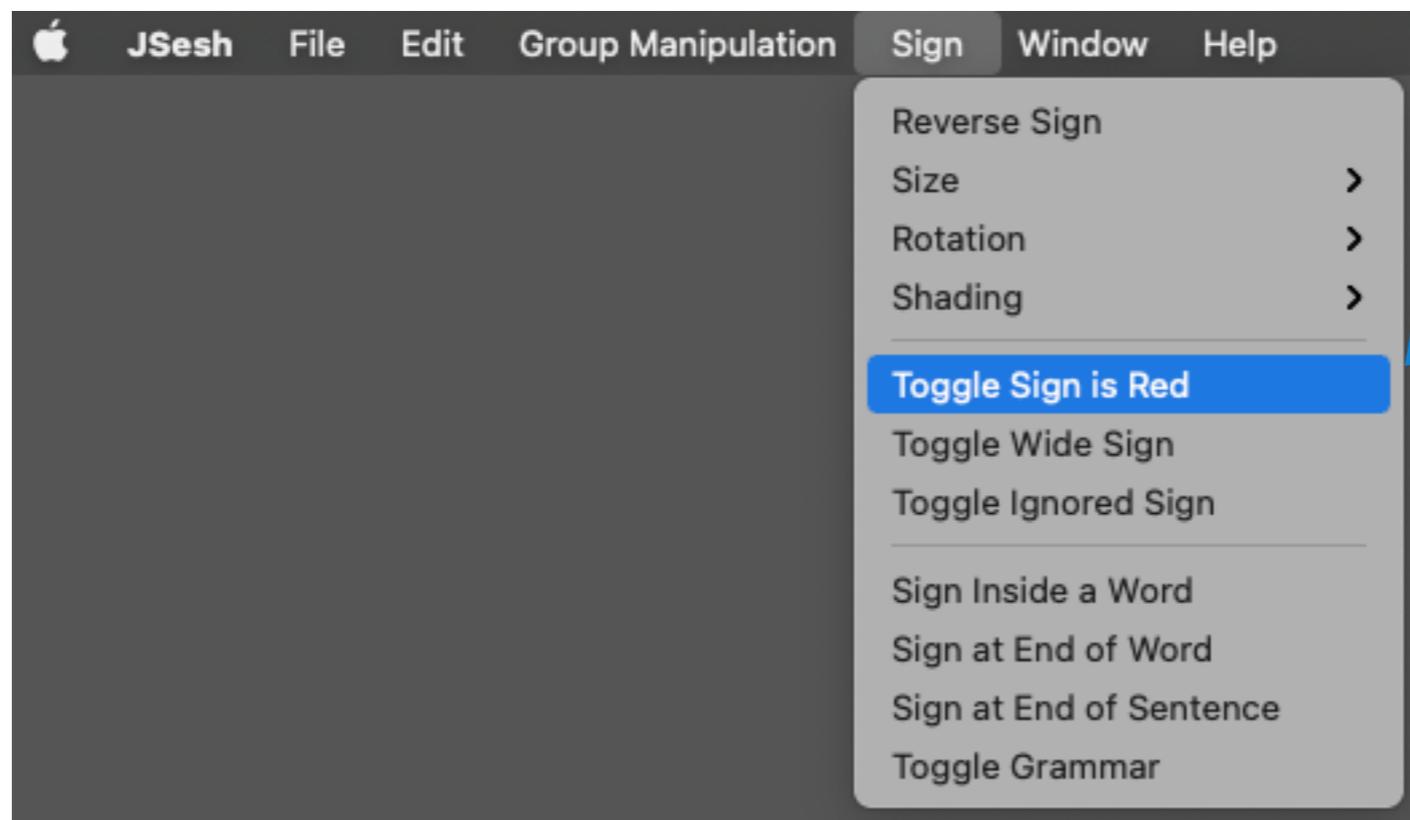
`X1&G43\i&X1`

【12】 JSeshを使う：文字の色を変える

12-3 一部の文字を灰色文字にする

JSesh

メニューバーから灰色文字を設定する



Sign

> Toggle Ignored Sign

メニューバー操作の Toggle Ignored Sign は
1つの単位に対して設定される

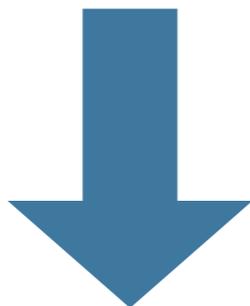
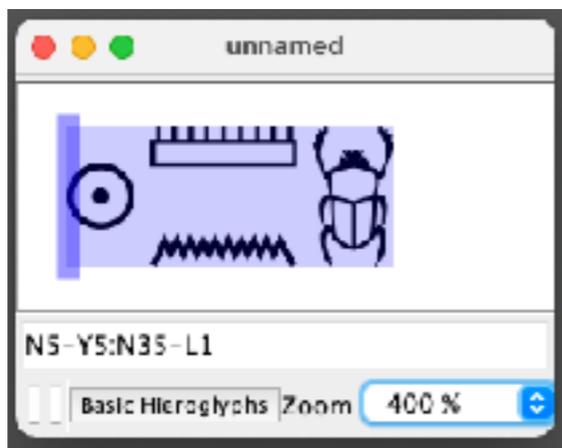
例：「X1&G43&X1」は1つの単位となるので
単位設定する前に個別に灰色にしておくか、
単位設定後にタイプ入力枠で対応する

【13】 JSeshを使う：王名枠の設定

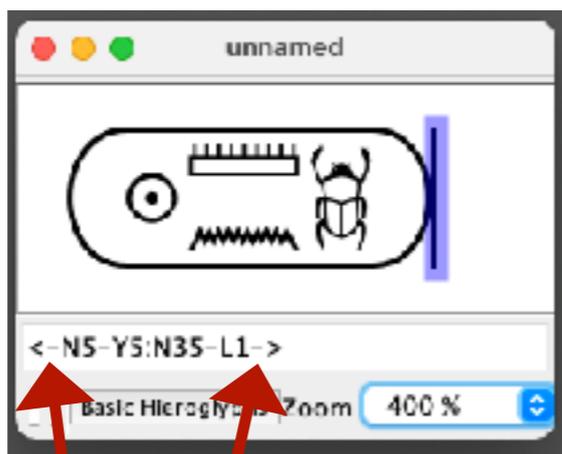
13-1 枠を選択する

JSesh

①文字を選択



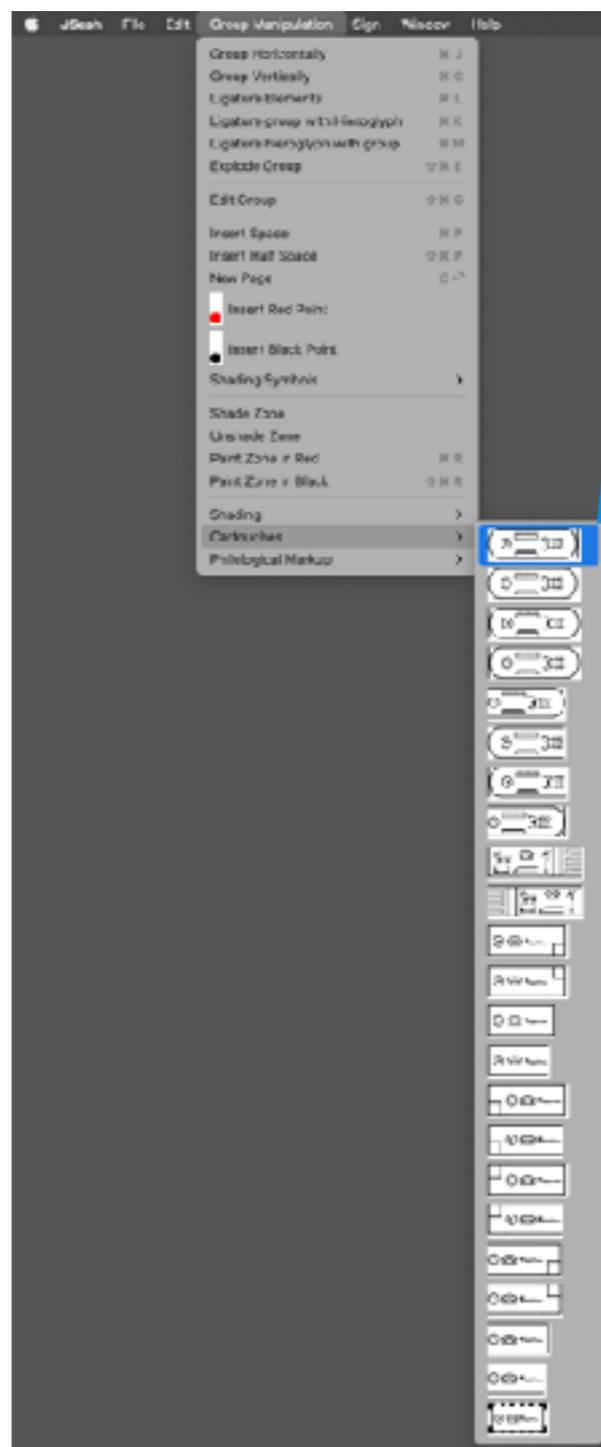
③枠が入る



タイプ入力枠

<- ->

②Group Manipulation
> Cartouches を選択



- ・ カルトウーシュ
- ・ セレク
- ・ フウト
- ・ 要塞枠

から選択

【13】 JSeshを使う：王名枠の設定

13-2 枠の種類

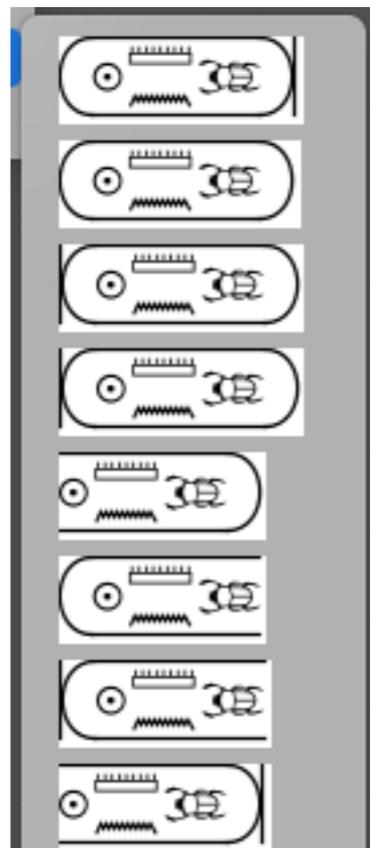
JSesh

	タイプ入力枠
カルトウーシュ	<- ->
セレク	<S- -> <small>大文字S</small>
フウト	<H- -> <small>大文字H</small>
要塞枠	<F- -> <small>大文字F</small>

【13】 JSeshを使う：王名枠の設定

13-3 カルトウーシュ (šnw)

JSesh



タイプ入力枠

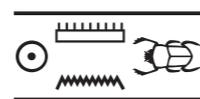
<-	->
<1-	-1>
<2-	-1>
<2-	-1>
<0-	-1>
<1-	-0>
<2-	-0>
<0-	-2>
<0-	-0>

開始終了のタイプ入力

1 = 楕円

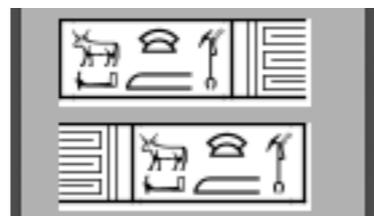
2 = 楕円 + 縦線

0 = 無し

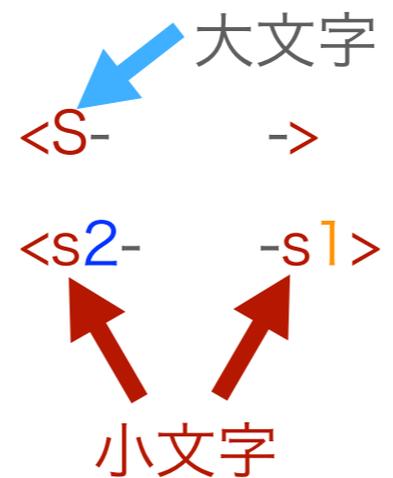


【13】 JSeshを使う：王名枠の設定

13-4 セレク (srh)



タイプ入力枠



開始終了のタイプ入力

- 1 = 四角
- 2 = 四角 + ファサード
- 0 = なし



<s1- -s0>



<s2- -s0>



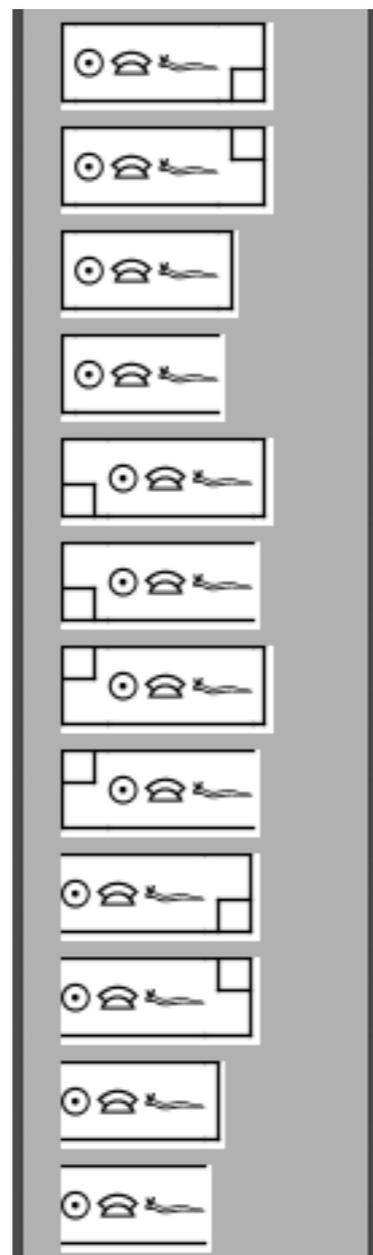
<s0- -s1>



<s0- -s2>

【13】 JSeshを使う : 王名枠の設定

13-5 フウト (*hw-t*)



タイプ入力枠

大文字

- <H- ->
- <h1- -h3>
- <h1- -h1>
- <h1- -h0>
- <h2- -h1>
- <h2- -h0>
- <h3- -h1>
- <h3- -h0>
- <h0- -h2>
- <h0- -h3>
- <h0- -h1>
- <h0- -h0>

小文字

開始終了のタイプ入力

- 1 = 四角
- 2 = 四角 + 下に正方形
- 3 = 四角 + 上に正方形
- 0 = 無し

【13】 JSeshを使う：王名枠の設定

13-6 要塞枠



タイプ入力枠



大文字

<F- ->



<f1- -f0>



<f0- -f1>



<f0- -f0>

小文字

開始終了のタイプ入力

1 = 城壁四角

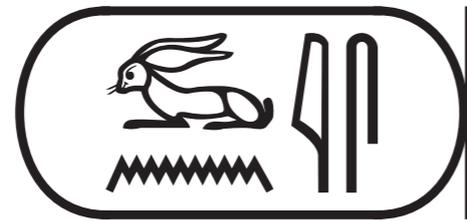
0 = 無し

13-7 枠内の記述を変更する

詳細は上級編で解説

JSesh

タイプ入力枠で枠内の記述を変更することができる



タイプ入力枠
<-wn:n-i-s->



<-+twnis+S->
+tMdC+S



<-+|Wnas+S->
+|ラテン文字+S

小文字のエル



<-+|日本語+S->
+|日本語-+S

【14】 JSeshを使う：練習問題

14-1 問題1

JSesh

以下の王名を入力してみよう

(1)



(2)



【14】 JSeshを使う：練習問題

14-2 問題2

JSesh

①以下の文を入力してみよう



②構文の種類を指摘した上で文を訳してみよう

【14】 JSeshを使う：練習問題

14-3 問題1の解答

JSesh

(1) <-N5-L1:Z2-V30->



V30

nb

nb=

所有者(M.SG)=



|||

L1-Z2

hpr-複数

hprw=

顕在(M.SG)=



N5

r^c

r^c

ラー神(M.SG)

「ラー神の顕在の所有者」

nb-hprw-r^c

「ネブケペルウラー」

ツタンカーメンの即位名

本来は*r^c-nb-hprw*の順で表記されるが、カルトゥーシュの形状に合わせて、上記の語順となっているのだろう

【14】 JSeshを使う：練習問題

14-3 問題1の解答

JSesh

(2)



<-U6\C12\C2-F31-S29-M23->



C2

r^c

r^c

ラー神(M.SG)



F31-S29

ms-s

ms

産む:分詞.完結相.能動.名詞化(M.SG)



M23

sw

=sw

=3SG.M

「ラー神は彼を産んだ者である」

名詞述語文

【14】 JSeshを使う：練習問題

14-3 問題1の解答

JSesh

(2)



U6

mr

mr(.y)

愛する:分詞.完結相.受動.名詞化(M.SG)

「アメン神に愛されし者」

名詞句



C12

jmn

jmn

アメン神(M.SG)

r^c-ms-sw mr(.y)-jmn

「ラメセス・メリーアメン」

ラメセス2世の誕生名

【14】 JSeshを使う：練習問題

14-4 問題2の解答



M23-Z7-M18-M17-Z4:D54-G17-X1:G1-N25:X1*Z1



M23-Z7

sw

3SG.M(現在)



M18-M17-Z4-D54

jj-ø

来る:結果相(-3SG.M)



G17

m=

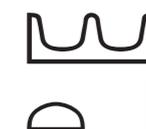
から=



X1-G1

t3

定冠詞:F.SG



N25-X1-Z1

h3s-t

砂漠-F.SG

【構文】 自動詞・結果相・主節

【訳】 「彼が砂漠から来た」

【解説】 新エジプト語文法：焦点化されていない自動詞結果相の主節には、「主語(後接代名詞/限定名詞)+動詞(状態形)」を用いる。また、新エジプト語では定冠詞が使用されるようになる。

【14】 JSeshを使う：練習問題

14-4 問題2の解答



\$r-M17*A2-D4:D21*Z4-\$b-I9-M18-M17*M17-G17-X1:G1-N25:X1*Z1



M17-A2-D4-D21-Z4-I9

j.jr=f

主題化詞-3SG.M



M18-M17*M17

jy

来る:不定詞



G17

m=

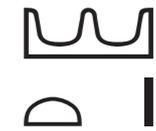
から=



X1-G1

t3

定冠詞:F.SG



N25-X1-Z1

h3s-t

砂漠-F.SG

【構文】 自動詞・完了時制・副詞類焦点化・主節

【訳】 「彼が来たのは、砂漠からである」

【解説】 新エジプト語文法：自動詞結果相の副詞類焦点化構文の主節には「*j.jr*＋主語(接尾代名詞/名詞)＋動詞(不定詞)」を用いる。焦点化される副詞類は前置詞句 *m t3 h3s-t* 「砂漠から」。

【14】 JSeshを使う：練習問題

14-5 文法のまとめ

JSesh

自動詞完結相：通常の主文と副詞類焦点化構文の主文の変遷

	通常の主文 「彼が来た」	副詞類焦点化構文の主文 「彼が来たのは、副詞/前置詞句である」
中エジプト語	 $jw=f jw-\emptyset$ 小辞 jw + 主語(接尾代名詞) + 状態形	 $jj-n=f$ + 副詞/前置詞句 動詞(名詞化)- n + 主語(接尾代名詞)
新エジプト語	 $sw jj-\emptyset$ 主語(後接代名詞) + 状態形	 $j.jr=f jy$ + 副詞/前置詞句 $j-jr$ + 主語(接尾代名詞) + 不定詞
コプト・エジプト語	$\epsilon-NHY$ 主語(後接代名詞) + 状態形	$\epsilon=NQ-NHY$ + 副詞/前置詞句 ϵ + 主語(接尾代名詞) + 状態形

【14】 JSeshを使う：練習問題

14-6 グロス

本ガイドで使用したグロスは主に以下の論文で提示されている規則に従っています

Camilla Di Biase-Dyson, Frank Kammerzell, Daniel A. Werning (2009)
Glossing Ancient Egyptian. Suggestions for adapting the Leipzig Glossing Rules.
Lingua Aegyptia 17: 343-366.

グロスで使用した文法用語の訳は以下の通りです

【英語】

ACT	active
ART	article
INF	infinitive
NMLZ	nominalization
PTCP	participle
PASS	passive

【日本語】

能動
定冠詞
不定詞
名詞化
分詞
受動

PRS

present

現在

proclitic pronoun

後接代名詞

RES

resultative

結果相

↳ stative

↳ 状態形

suffix pronoun

接尾代名詞

THMZ

thematizer

主題化詞

謝辞

本ガイドを作成するにあたり、JSesh開発者のSerge Rosmorduc博士より許可を頂きました。すばらしいアプリケーションを無償で提供して下さっていることとあわせ、記して感謝申し上げます。

Acknowledgments

I would like to express my appreciation to Dr.Serge Rosmorduc, who is the main developer of JSesh, for his permission to publish this user's guide. In addition, I am particularly grateful to him for providing this highly useful application for free.

奥付/ Colophon

タイトル：	JSesh ユーザーズガイド【中級編】
Title：	JSesh User's Guide: Intermediate Level
著者：	永井正勝
Author：	東京大学附属図書館アジア研究図書館上廣倫理財団寄付研究部門・特任准教授 Masakatsu Nagai Project Associate Professor, Uehiro Project for the Asian Research Library, The University of Tokyo
発行地：	東京
Place：	Tokyo
版：	Ver.1
Version：	Ver.1
発行日：	2021年7月25日
Year：	7/25/2021
二次利用条件：	クリエイティブコモンズ 表示 - 非営利 4.0 国際
The Conditions of Use:	CC BY-NC 4.0